

[illegible]

計 31 枚

静岡県立こども病院外来棟増築工事 (機械設備工事)

設計仕様概要表										
工事名		静岡県立こども病院外来棟増築工事								
建築主	住所	〒420-8660 静岡県静岡市葵区湊山860								
	氏名	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院長 瀬戸 嗣郎 電話 054-247-6251								
工事場所		〒420-8660 静岡県静岡市葵区湊山860-1 全10筆								
敷地条件		1)用途地域 <input type="checkbox"/> 低住専(<input type="checkbox"/> 種) <input type="checkbox"/> 中高住専(<input type="checkbox"/> 種) <input type="checkbox"/> 住居(<input type="checkbox"/> 種) <input type="checkbox"/> 近隣商業 <input type="checkbox"/> 商業 <input type="checkbox"/> 準工 <input type="checkbox"/> 工業 <input type="checkbox"/> 工専 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし 市街化調整区域 都市計画区域内						敷地面積		92,120.76 m ²
		2)地域地区 (法22条地域) <input type="checkbox"/> 指定なし、防火地域(<input checked="" type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域)						建築面積		562.27 m ²
		3)容積率 (基準 200 %≧ 57.44 %)、建ぺい率(基準 60 %≧ 23.97 %)						延床面積		1,213.90 m ²
		4)日影規制 (4 時間、2.5 時間)、受影面高(平均地盤面+ 4 m) (時間、 時間)、受影面高(平均地盤面+ m)						延床面積(容積対象)		(1,213.90) m ²
		5)高さ規制 (<input type="checkbox"/> 有(m) <input checked="" type="checkbox"/> 無)、道路斜線制限(<input checked="" type="checkbox"/> 有(1 : 1.5) <input type="checkbox"/> 無)、隣地斜線制限(<input checked="" type="checkbox"/> 有 31 m+(1 : 2.5) <input type="checkbox"/> 無)、高度地区:(<input type="checkbox"/> 第 種高度地区)						建ぺい率計算式		22,262.57 m ² / 92,895.52 m ² = 23.97 %
		6)前面道路 (名称:1974東上+新田沼上線 幅: 7.07 m、名称: 幅: m、名称: 幅: m)						容積率計算式		(53,354.76) m ² / 92,895.52 m ² = 57.44 %
		7)駐車場 (台)						階 別 / 工事別		
		8)自然環境、特殊条件 <input type="checkbox"/> 塩害 <input type="checkbox"/> 地盤沈下 <input type="checkbox"/> 寒冷地 <input type="checkbox"/> 接地難(アース) <input type="checkbox"/> その他()								
建物概要		主要用途 <input checked="" type="checkbox"/> (08260 病院) <input type="checkbox"/> 避難拠点に使用する						3階		48.64 m ²
		工事種別 <input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 用途変更						2階		838.48 m ²
		規模 1)面積 (敷地面積 92,120.76 m ²) (建築面積 562.27 m ²) (延床面積 1,213.90 m ²)						1階		1,336.92 m ²
		2)階数 地上 3 階 地下 階 塔屋 階						床面積		2,224.04 m ²
		3) 1階床高 (設計GL+ 0.200 m) 軒高 (設計GL+ 13.275 m) 最高部高 (設計GL+ 13.690 m) 設計GL (JP+11.140) 1階床高 (平均地盤+ m) 軒高 (平均地盤+ 12.015 m) 最高部高 (平均地盤+ 12.430 m) 平均地盤 (JP+12.400)						延床面積(容積対象)		(2,224.04) m ²
		構造 <input checked="" type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> W造 <input type="checkbox"/> CB造						建築面積		m ²
		杭 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								
		増築予定 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								
全体工事範囲		工期 2013 年10月10日より 2014 年 3月31日迄とする。								
		■ 建築本体工事(外構工事を含む) ■ 昇降機設備工事 <input type="checkbox"/> その他工事 <input type="checkbox"/> 別途工事 下記建築概要による								
		<input type="checkbox"/> 空調換気設備工事 <input type="checkbox"/> 電気設備工事								
		<input type="checkbox"/> 給排水衛生設備工事 <input checked="" type="checkbox"/> 既存改修工事								
その他										
建 築 概 要										
1.設計主旨		1)計画 利用者にも、スタッフにも利用しやすい施設				5. 別途工事等				
		2)構造 建物の用途、規模、地盤の状況を十分考慮し、使用材料の構造特性を考慮した柱の配置、大梁小梁の配置、基礎形式の選択を行い、経済性を考慮して構造形式を選定する。								
		3)電気 環境に配慮した証明器具等の選定を積極的に行う。								
		4)機械 省エネルギーに主眼を置き、高効率な機器を積極的に採用する。								
		5)環境配慮設計※ISO14000、HAE EMSによる、「環境配慮設計チェックシート」参照								
2.避難・防災		防災計画書 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 防火対象物:消防法施行令第8条第1 6 項 イ								
		耐火建築物 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 自主								
		防火区画 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 用途区画 <input type="checkbox"/> 個別区画 <input type="checkbox"/> 面積区画(1500m ² 区画) <input type="checkbox"/> 堅穴区画 <input checked="" type="checkbox"/> 防火戸								
		防煙区画 <input checked="" type="checkbox"/> 500m ² 区画 <input checked="" type="checkbox"/> 防煙垂壁 <input checked="" type="checkbox"/> 自然排煙設備 <input type="checkbox"/> 機械排煙設備								
		内装制限 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否 ※詳細は内装仕上げ表による								
		避難経路 <input checked="" type="checkbox"/> 避難階(1 階) <input checked="" type="checkbox"/> 2方向避難 <input type="checkbox"/> 避難バルコニー、避難ハッチ <input type="checkbox"/> 避難湧り台 <input type="checkbox"/> 避難器具								
		<input type="checkbox"/> 屋内階段(堅穴区画) <input checked="" type="checkbox"/> 屋外階段 <input type="checkbox"/> 避難階段 <input type="checkbox"/> 特別避難階段 <input type="checkbox"/> 敷地内通路								
		非常用進入口 <input type="checkbox"/> 避難バルコニー <input type="checkbox"/> 代用進入口								
		防災設備 <input type="checkbox"/> 中央監視盤 <input checked="" type="checkbox"/> 自動火災報知設備 <input checked="" type="checkbox"/> 非常放送 <input checked="" type="checkbox"/> 非常照明 <input checked="" type="checkbox"/> 避難誘導灯 <input type="checkbox"/> 避難針 <input type="checkbox"/> 連絡送水管								
		<input checked="" type="checkbox"/> 屋内消火栓 <input checked="" type="checkbox"/> スプリンクラー <input checked="" type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> 消火用水槽 <input checked="" type="checkbox"/> 非常電源 <input type="checkbox"/> 非常用エレベータ								
3.設備概要		構造性能 <input checked="" type="checkbox"/> 耐震構造 <input type="checkbox"/> 制震構造 <input type="checkbox"/> 免震構造 <input type="checkbox"/> 床面重条件(3900N/m ²) 詳細は構造図による								
		<input checked="" type="checkbox"/> 安全係数(<input type="checkbox"/> 1.0 <input checked="" type="checkbox"/> 1.5) <input type="checkbox"/> 設備機器耐震措置 (建築設備耐震設計施工指針最新版による)								
		無窓階 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 [消防法施行令第10条第1項第5号による]								
		その他 <input type="checkbox"/> ()								
4.その他設備概要										
REVISION		1)電気設備概要				■基本建築関係法令 ■建築工事標準仕様書 ■建築工事監理指針 ■建築物の構造規定				
		■構内配電線路設備 ■構内弱電線路設備 ■屋外灯設備 ■受変電設備 ■自家発電設備				■建築基礎構造設計規準同解説 ■鉄筋コンクリート構造計算規準同解説 ■雨構造設計基準				
		■直流電源設備 ■幹線動力設備 ■電灯コンセント設備 ■電話配管設備 ■構内交換設備				■建築工事標準仕様書同解説(「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」) ■機械設備工事標準仕様書				
		■電気時計設備 ■放送設備 ■テレビ共聴設備 ■表示設備 ■インターホン設備				■空気調和衛生設備工事標準仕様書 ■機械設備工事監理指針 ■電気設備工事標準仕様書				
		■自動火災報知 <input type="checkbox"/> 避難針設備 <input type="checkbox"/> 機械警備設備 <input type="checkbox"/> 監視制御設備				■国土交通省建築工事積算基準 ■電気設備工事監理指針 ■開発指導要綱				
		<input type="checkbox"/> その他()				<input type="checkbox"/> 本件で必要な外部文書[<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>]				
		2)空調設備概要				■ISO9000S適用 建築工事施工管理要綱				
		<input type="checkbox"/> 熱源設備() <input checked="" type="checkbox"/> 空調設備() <input type="checkbox"/> 換気設備 <input checked="" type="checkbox"/> 自動制御								
		<input type="checkbox"/> 排煙設備() <input type="checkbox"/> 床暖房設備 <input type="checkbox"/> その他()								
		3)給排水衛生設備概要								
		■給水設備 ■給湯設備 ■排水設備 ■衛生器具設備 ■ガス設備 ■消火設備								
		<input type="checkbox"/> 厨房機器設備 <input type="checkbox"/> 浄化槽設備 <input type="checkbox"/> その他()								

<



■1.空調設備概要

□1)熱源設備

■2)空調設備

■3)排煙設備

■4)自動制御

□5)その他

(■ 印の付いたものを適用する)
(縦罫を示すもので仕様を特定するものではない)

□冷凍機 (□ターボ □スクロール式 □吸収式 □スクリュース式)
□直燃冷水発生機 (□ガス □油) □ 蒸気式冷水発生機
□温水ボイラ (□銅製 □鋳鉄製 □減圧型)
□蒸気ボイラ (□鋳鉄製 □片筒煙管式 □貫流式)
□ヒートポンプ (□スクロール式 □スクリュース式 □氷蓄熱ユニット)

□全ダクト式 □ファンコイルユニット,ダクト併用
■パッケージ (■マルチ □シングル □リモコン型)

■自然排煙方式 ()
□機械排煙方式 ()

■空調 (□電気式 □電子式 ■DDC式 □空気式)
□防煙ダンパー (□電気式 □空気式 □機械式)
起動方法 ()
□

■2.給排水衛生設備概要

■1)給水設備

■2)給湯設備

■3)排水設備

□4)ガス設備

■5)消火設備

□6)浄化槽設備

□7)厨房設備

■8)その他

(■ 印の付いたものを適用する)
(縦罫を示すもので仕様を特定するものではない)

飲料水 (■ 市水 □ 井水)
雑用水 (■ 市水 □ 井水 □ 中水 □ 雨水 □ 工事用水)
□水道直結式 □高置タンク式 □圧力タンク式 ■ポンプ圧送式 (既設ポンプ利用)

□個別式 -- 熱源 (□ 電気 □ ガス □ 蒸気) □ 貯湯式 □ 瞬間式 □ ヒートポンプ式
■中央式 -- 熱源 (□ 電気 □ ガス □ 蒸気 □ 油) □ ヒートポンプ式 □ CGS熱源水
(既設熱源利用)

建家内の汚水と雑排水 (■ 分流式 □ 合流式)
■再利用装置 (□ 有 ■ 無)
■汚水 (□ 公共下水道 ■ 浄化槽) (既設浄化槽利用)
■雑排水 (□ 公共下水道 ■ 浄化槽 □ 側溝) (既設浄化槽利用)
■雨水 (□ 公共下水道 □ 浄化槽 □ 側溝)

□都市ガス □ LPG *ガス管設備なし。

□屋内消火栓 ■屋外消火栓 □連結送水管 ■スプリンクラー
□連結散水 □水噴霧消火 □泡消火 □放酸ガス消火
□粉末消火 □フード用簡易自動消火 □防火水霧
■消火器 (別途工事)

□大臣認定品 □ 築造型 (個別認定品)

□電気 □ ガス

■医療ガス設備 *危険物や毒物などの保管はなし。

■3.一般共通事項

■1)適用

■2)定義

■3)仕様の指示

■4)優先順位

■5)疑義に対する協議と記録

■6)官公署等への手続き

■7)別契約の関連工事

□8)支給材料

■9)発生材の処理

■10)第三者損害に対する配慮

■11)材 料

■12)材料試験

■13)立会い

1)特記事項のうちで選択する事項は ■ 印を適用する。

1)この特記仕様書は本工事の仕様についての特記である。
2)ここで述べる設計図書とは質疑回答書・特記仕様書・設計図書の総称である。

1)本工事の仕様について設計図書に記載 (指示) のない場合は下記仕様書の最新版による。
■ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) < (社) 公共建築協会 発行 >
■ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) < (社) 公共建築協会 発行 >
(以下、「標準」という。)
■ 建築工事標準仕様書・同解説 < (社) 日本建築学会 発行 > (以下、JASS という。)

本工事の仕様適用に対する優先順位は下記の通りとする。
① 質疑回答書 ② 現場説明書 ③ 特記仕様書
④ 設計図書 ⑤ 標準およびその他の仕様書

設計図書に不備・不明の箇所を発見し、または疑義が生じたときは直ちに監理者と協議し、その協議の結果について監理者の認証付の記録書を作成しておくものとする。

本工事に関係ある法令、(条例等を含む) 広範の法を指す。以下、同じ) を遵守し、必要ある届出、手続きはすべて請負者が行う (但し、建築確認申請は除く) 。
その手続きに関する費用は請負者負担とする。

別契約の関連工事については、監理者の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。

支給材料・機器および貨物品は、下記リストによる。
□

□ 指示された場所に整理 (残材調書を添えて引渡す。)
■ 産業廃棄物として、関係法令に従い、かつ行政庁の指導をうけ承諾をうけた場所に搬出適切に処理。

本工事の施工により騒音、振動、塵、臭い、地盤沈下、道路損傷、通行障害等近隣に及ぼす公害が発生しないよう、各種法令を遵守し関連官公庁の指導をうけて進めると、万一損傷その他の危害が発生した場合は、請負者の負担により速やかに補修および補償をすること。

使用する材料および寸法等は JIS および JASS の規格品とし本特記仕様書で指定されたメーカーおよび材料以外を使用する場合は同等とし、予め監理者に申し出て承諾をうける。
1) 本工事に使用する建材は、原則として「ゼロアス」の製品・資材とすること。
「ゼロアス」：アスベスト含有 0 %
2) 代替品が無い等の理由により、1) 以外の製品・資材を使用する場合には、監理者の承諾を得ること。
3) 竣工引渡し書類の「環境配慮事項まとめファイル」にゼロアスも含めて MSDS (製品安全データシート) を入れ、監理者に内容確認の上、施主へ提出・報告する。

工事に使用する材料のうち、設計図書に定められたもの、または監理者の指示のあるものは、公的試験所または監理者の認める試験所で試験を行い、その試験成績書を監理者に提出して、確認を受けなくてはならない。なお、これに要する費用は請負者の負担とする。

本工事の施工にあたって、監理者の立会いを受けなければならない項目は下記のものとする。
■ 指示された施工または試験
■ 各法令に基づく諸官庁の検査

■4.共通工事仕様

■14)検査

■15)工事区分

■16)提出書類

■着工時

■工事中

■竣工時

■17)工事保証

■18)現場代理人の資格

■19)技能士の適用

■20)監理者事務所

■21)工事用水

■22)工事用電力

■23)工事用仮設物

■24)残土処分

■25)埋め戻し

□26)特記事項

□1)案内板

■2)測定表

■3)機器仕様

■4)試算

■5)電動機

■6)電源周波数

■7)耐震措置

■ 14) 検査
■ 指示された材料、製品および機器の検査
■ 指示された工程完了時点での中間検査
■ 竣工検査

取り合い工事区分は、別紙工事区分表とする。
設備機器の位置、取り合いなどの検討できる資料を関連機器と調整の上、総合図を提出し、監理者の承諾をうける。

工事の準備・着工・進行・完成に際して、下記に指示する図書については遅滞なく作成し監理者に提出すること。
提出部数 ■ 3部 (発注者・監理者・施工者共用) □

■ 工事請自契約書 ■ 請自代金内訳書 ■ 損害保険証書 ■ 工事着手届
■ 主任技術者および現場代理人届 ■ 専門技術者届 ■ 工事現場編成届
■ 現場常駐職員届 ■ 工事工程表 ■ 仮設計図面

■ 下請業者承諾願および一覧表 ■ 機器・材料製造者承諾願および一覧表
■ 工事記録報告書
■ 日報 ■ 週報 ■ 月報 ■ 工事進捗表 ■ 就業状況 ■ 搬入材・使用材状況
■ 工事記録写真

■ 施工計画書 ■ 施工要領書 ■ 施工図・機器製作図 ■ 総合図 ■ 試験・検査報告書
■ 現場打合せ記録
■ 申請・届け出書類一覧表および同座 ■ 出来高調書および承諾願・請求書
■ 変更工事見積書

■ 自主検査報告書 ■ 工事完了届 ■ 竣工引渡書および受領書
■ 図書明細書および受領書
■ 検査済証 ■ 使用許可書 ■ 申請書・届出書 ■ 保証書 ■ 機器取扱説明書
■ 備品類明細書および受領書
■ 鍵および鍵箱 ■ 備品 ■ 予備品 □ 工具および工具箱 ■ 標準図
■ 保安工事連絡一覧表
■ 竣工図
■ 原因 ■ 製本 ■ A3判縮小製本 ■ 修正 CAD データ (CD-ROM)
■ 施工図製本 ■ 竣工写真 (指定アルバム) (DWG・DXF・JWW)

竣工引渡し後、瑕疵の担保期間内において工事不良のため生じた損害は、請負者の負担において、敏速、丁寧に復旧するものとする。

つぎの資格を有するものとする。
■ 管工事施工管理技士 (■ 1 級 □ 2 級)
□ 建築設備士

本工事に当該職種別技能士を適用する。
■ 配管技能士 ■ 冷凍空気調和機器施工技士
■ 熱絶縁施工技能士 (保温工事) ■ 建築板金技能士 (ダクト製作及び取り付け)

□ 設ける (□ 敷地内 □ 敷地外) ■ 設けない (備品)

施設内既存の施設 □ 利用できない ■ 利用できる (■ 有償 □ 無償)

施設内既存の施設 □ 利用できない ■ 利用できる (■ 有償 □ 無償)

構内に設けることが ■ できる □ できない

■ 構外に搬出適切処理
□ 構内指示の場所に敷集し整地
□ 構内指示の場所に堆積

■ 横切り土の中の良い質土 (ただし管の周囲は山砂)
□ 山砂の類
□
□
□
□
□

■5.空気調和設備

□一般の施設におけるKS

■8)構造安全性

■9)保温

■10)はつり

■11)他工事との取り合い

■12)機器塗装色の指定

■13)機器配管等の取付

■14)蓄熱槽施工管理

■15)防火区画貫通部措置

■16)その他

□ 一般の施設における KS
設置場所 地階及び1階 中階 上階、屋上及び塔屋
重要機器 0.6 / 1.0 / 1.0 1.0 / 1.5 / 1.0 1.5 / 2.0 / 1.5
重要以外 0.4 / 0.6 / 0.6 0.6 / 1.0 / 0.6 1.0 / 1.5 / 1.0
* 特定・一般の判別に關しては、(建築大臣官所官庁官廳部監修 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説) にて確認する。

4) 重要機器は次のものを示す
■ 給水装置 ■ 排水装置 ■ 換気機器 ■ 空調機器
■ 燃費機器 (火を使用するもの) ■ 防災設備
□ 危険物貯蔵装置 □ 火を使用する設備 □ 避難経路上に設置する機器

5) 各種吊金物
■ 鋼材に固定する金物は、挟み込形状のものとし、振動により脱落しない構造とする。
■ 振止め材は固定状況により適正な位置に設けること。
■ 振れ止め金具はボルト固定タイプとし、繰り返しの振動に對し、必要十分な耐力を持つこと。
■ 天吊機器 100kg 以上の吊材はアングル架台とし、振動により脱落しない構造とする。

建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。
■ 建築設備 (昇降機を除く。) 。建築設備の支持構造部及び緊結金物は、買食又は買朽のおそれがないものとすること。
■ 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支弁を設けたものを除き、90cm 以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に對するコンクリートのかぶり厚さも 5cm 以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが 25cm 以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に對して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金具又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■ 法第 20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第 1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に對して構造耐力上安全なものとすること。

(1) 「繕仕」によるほか下記による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。
又、保温材は原則としてグラスウールとする。

(2) ダクトの保温外装は下記による。

屋	倉庫・書庫	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
内	各階機械室	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
露	主 機 械 室	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
出	居室・廊下など	■カラー亜鉛鉄板 □アルミニウム板
屋内隠ぺい、DS内	□アルミホイルペーパー+カラー金網 ■アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所()	■ステンレス鋼板 □カラー亜鉛鉄板 □ガルバリウム鋼板	

(3) 配管の保温外装は下記による。(冷媒管は除く)

屋	倉庫・書庫	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
内	各階機械室	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
露	主 機 械 室	■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー+カラー金網
出	居室・廊下など	■綿布 □アルミガラスクロス
屋内隠ぺい、DS内	□アルミホイルペーパー+カラー金網 ■アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所()	■ステンレス鋼板 □カラー亜鉛鉄板 □ガルバリウム鋼板	

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。構造上影響を及ぼさないよう適切に処理を行うこと。

スリーブ、箱入りその他他工事との取り合いは、別紙工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明記し、監理者と打ち合わせる。

原則として製造者標準色とするが、下記の機器については塗装色の指定を行う。
□ 有圧扇フード □ 空調屋外機 ■ ベントキャップ ■ 消火栓ボックス

■ 屋外露出部の機器・配管等取付のための支持架台・金物は、溶融亜鉛メッキとする。
同用ボルト・ナット等は、ステンレスとする。取付に際しては、異種金属絶縁を確実にすること。
■ 機械室及び屋上の床上配管には、点検が容易に出来るように監理者の指示により部分的にデッキ等を取付けること。

□ 蓄熱槽の清掃、水張り試験後、満水状態で水質測定を行い、基準値を満足していることを確認すること。
□ 蓄熱槽系の配管フラッシングは、蓄熱槽以外フレッシュな用水を確保し、又、蓄熱槽以外の排水を確認して行うこと。

防火区画・防火上主要な囲む切壁を貫通する管は、建築基準法に適合した工法にて処置すること。貫通部分及び両側 1m を不燃材料、若しくは国土交通大臣認定工法とし、隙間は 2mm 等の不燃材で充填すること。

天井点検口裏面に点検用途の表示を行う (関連用途をまとめること)

■1)設計温湿度

■2)ダクト種別

■3)チャンパー

□4)ダンパー

■5)風量測定□

□6)ステンレスダクト

■7)配管材料

■8)弁 類

■9)継手類

■10)温度計

■11)圧力計

■12)ドレン排水

■ 垂鉛鉄板
■ 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。
■ 空気調和機、温風暖房機に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー、および風道系で消音内貼りにしたチャンパーには、点検口を設ける。
■ 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパーおよびホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
■ 外気取り入れチャンパーは防虫ネット (SUSメッシュ) を設ける。
* 防虫ネットは容易に取外しができる構造とする。

□ 防煙ダンパー 復帰方法 (□ 遠隔 □ 手動)
定格入力は DC24V、0.7A 以下
復帰方法 (□ 遠隔 □)

□ ピストンダンパー 復帰方法 (□ 遠隔 □)
送風機前後は高静圧ダンパーとする。

□ 高気密ダンパー (300mmAq 以内)
取付け箇所は □ 図示した位置
■ 送風機吐出ダクトまたは吸込ダクト
■ 外気取り入れダクト
■ 空調機出ロチャンパーの分岐ダクト

下記事項以外は共通による
□ 低圧ダクト □ アングルフランジ工法 □ コーナーボルト工法)
1) ダクト材料
(1) ステンレス鋼材による SUS304
(2) リベット 冷間成形リベット (JIS B 1213) に準ずるステンレスリベット (SUS304) とする。
(3) ボルト及び六角ボルト (JIS B 1180) 及び六角ナット (JIS B 1181) に準ずる (SUS304) とする
(4) フランジ用 発泡クロロプレンゴムで厚さ 3mm 以上とする。
ガスケット

2) 寸法
(1) 長方形ダクト
a 板厚 ダクトの長辺 750 以下は厚さ 0.5mm とし、750mm を超え 1,500 以下は厚さ 0.6mm とする。又、1,500 を超え 2,200 以下は厚さ 0.8mm とする。
b 接合用フランジ等

ダクトの長辺	接合用フランジ 山形鋼 (SUS304)	最大間隔	施方白の種強フランジ 山形鋼 (SUS304)	最大間隔
750 以下	25 × 25 × 3	1820	25 × 25 × 3	2000
750 を超え 1500 以下	30 × 30 × 3	1820	30 × 30 × 3	1000
1500 を超え 2200 以下	40 × 40 × 3	1820	40 × 40 × 3	1000

(2) スパイラルダクト
a 板厚 呼称寸法 560 以下は、厚さ 0.5mm する。継ぎ手の厚さは呼称寸法 560 を超え 800 以下は厚さ 0.6mm とする。

種	類	管	種
□ 冷水	□ 温水 ■ 冷水水	水道用亜鉛めっき鋼管	
□ 冷却水		配管用炭素鋼管 (白)	
■ 空調ドレン管		配管用炭素鋼管 (白)	
□ 油管		配管用炭素鋼管 (白)	
□ 蒸気往 (高圧 0.7MPa を超える)		圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40	
■ 蒸気往 (高圧 0.1 ~ 0.7MPa)		配管用炭素鋼管 (黒)	
□ 蒸気往 (低圧 0.1MPa 未満)		配管用炭素鋼管 (黒)	
■ 蒸気還 (50A 以下)		一般配管用ステンレス鋼管	
□ 蒸気還 (65A 以上)		圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40	
■ 冷媒配管		冷媒用被覆新熱鋼管	

□ JIS 5kg / cm² ■ JIS 10kg / cm²
冷水コイルおよび蒸気加熱コイル廻りの弁は仕切弁とする。
冷水水及び冷却水に設ける呼び径 5 以上の弁はバタフライ弁とする。

■ 伸縮継手 (■ ベローズ形 SUS304 □ スリーブ形)
■ 防振継手 (■ ベローズ形 SUS304 □ 合成ゴム製)
■ 可とう継手 (■ ベローズ形 SUS304 □ 合成ゴム製)
可とう継手の全長は、図示なき限り「繕仕」による。

取付部は下記による。
□ 冷凍機の冷水管 (送り、返り) および冷却水管 (送り、返り)
□ 収収冷水温水機の冷温水管 (送り、返り) および冷却水管 (送り、返り)
■ 空調機の冷温水管 (送り、返り) および三方弁装置後の冷温水管 (返り)
□ 熱交換器の温水管 (送り、返り) 冷水水ヘッダー (往) および冷水水ヘッダーの各返り管
■ 空気調和機 (パッケージ形を含む) のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入れおよびレタンチャンパー
□ 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れおよびレタンチャンパー

取付部は下記による。
□ 冷凍機の冷却管 (送り、返り)
□ 収収冷水温水機の冷温水管 (送り、返り) および冷却水管 (送り、返り)
■ 空調機の冷温水管 (送り、返り)
□ 熱交換器の温水管 (送り、返り)
□ 各ポンプ出口

空調機のドレン用排水管には、送風機の全静圧以上の空調機用トラップを設ける。
トラップの形式 ■ フロートボール式 □ メカニカル式 □ 水封式
パッケージのトラップはメカニカル式又はフロートボール式とする。

■ 株式会社 日立建設設計

禁 複 写 無 断 転 載 禁 止
Copyright © 2013 HAE All rights reserved

REVISION

田中正

中川

吉岡

DATE 2013.11.5

SCALE - (A3) -

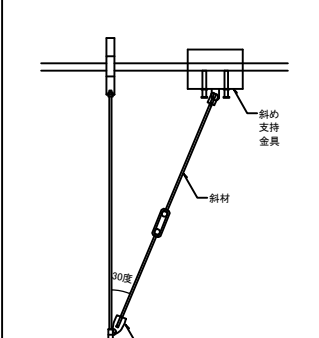
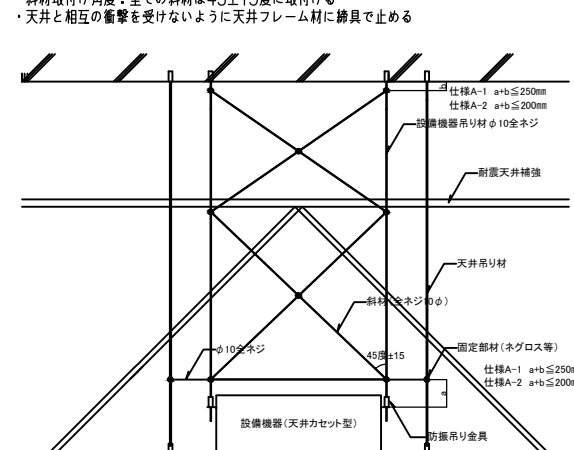
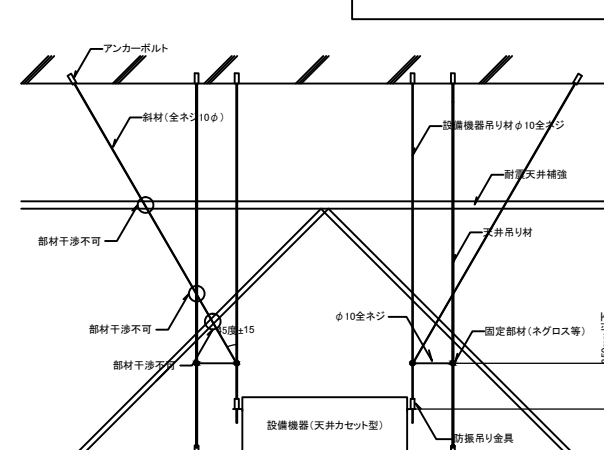
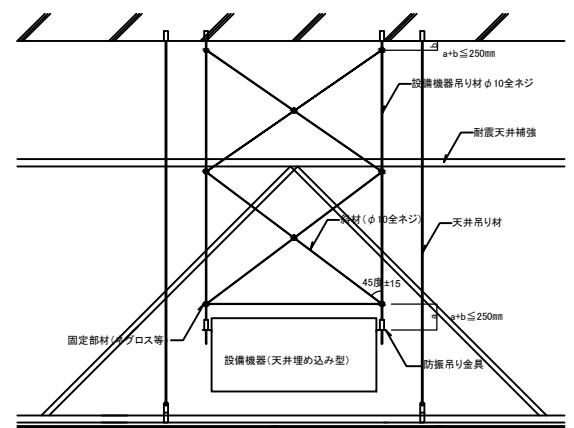
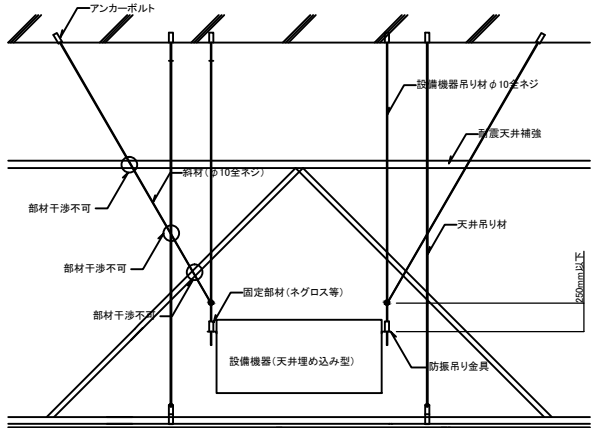
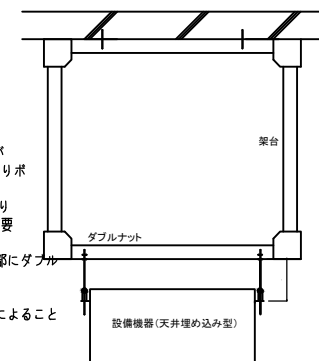
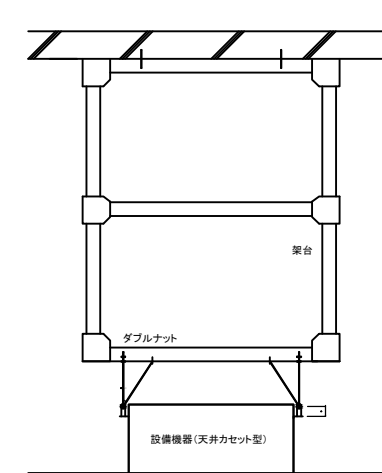
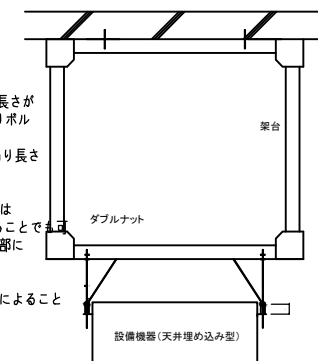
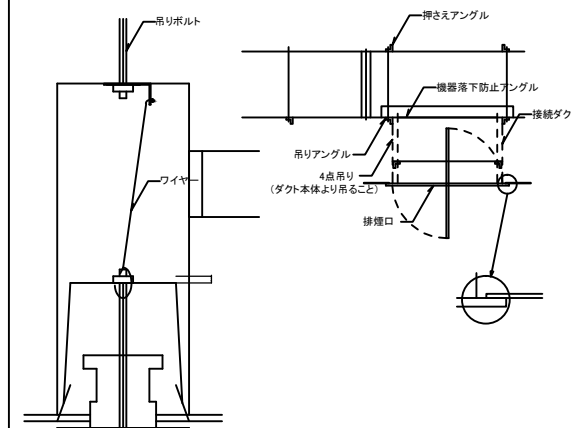
JOB.NAME 静岡県立こも病院外末機増築工事

TITLE 機械設備 特記仕様書(1)

DWG.NO. M-02 KM-03

一級建築士 第185886号 掲出 記載

[illegible]

章 項 目		特 記 事 項	
■ 1. 設備機器耐震仕様	1) 設備機器耐震仕様適合フロー図	<div><div>設備機器耐震仕様</div><div><div>標準的な対策</div><div>機器タイプ</div><div><div>天井カセット型</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ</div><div><div>1.0m未満</div><div>1.0m以上</div><div>機器重量</div><div><div>10~30kg未満</div><div>30~100kg</div></div></div><div><div>仕様 A-1</div><div>仕様 B</div><div>仕様 C</div></div></div><div><div>機能確保を図る対策</div><div>機器タイプ</div><div><div>天井カセット型</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ</div><div><div>1.5m未満</div><div>1.5m以上</div></div><div><div>仕様 A-2</div><div>仕様 D</div><div>仕様 E</div></div></div></div></div></div>	
	2) 仕様A	<div><div>仕様A-1</div><div><div>標準的な対策</div><div>天井カセット型</div><div>機器重量10~100kg</div></div><div><div>・a+bが25cm以下は斜材不要</div><div>・a+bが25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・a+bが30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div></div><div><div>仕様A-2</div><div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>機器重量10~100kg</div><div>吊り長さ1.5m未満</div></div><div><div>・a+bが20cm以下は斜材不要</div><div>・a+bが20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・a+bが25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div></div><div><div>仕様A-1,A-2共通</div><div><div>全ネジボルト 形状：X状 or 放射状</div><div>斜材取付け角度：全ての斜材は45±15度に取付ける</div><div>天井と相互の衝撃を受けないように天井フレーム材に誘貝で止める</div></div></div><div><div>耐震吊りボルト抜け止めシステム（参考：ネグロス）</div><div></div></div><div><div>〈X状〉4面</div><div></div><div><div>〈放射状〉4方向</div><div></div></div></div></div></div>	
3) 仕様B		<div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満で重量10~100kgもしくは1.0m以上で機器重量10~30kg未満</div></div> <div><div>・a+bが25cm以下は斜材不要</div><div>・a+bが25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・a+bが30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div><div>・全ネジボルト 形状：X状 or 放射状</div><div>斜材取付け角度：全ての斜材は45±15度に取付ける</div><div>斜材の種類：全ネジボルト</div></div> <div><div>〈X状〉4面</div><div></div><div><div>〈放射状〉4方向</div><div></div></div></div>	
4) 仕様C		<div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>・bが25cm以下は斜材不要</div><div>・bが25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・bが30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div><div>斜材の種類：鋼製架台</div><div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div><div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div></div> <div><div>架台</div><div></div></div>	
5) 仕様D		<div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>・bが20cm以下は斜材不要</div><div>・bが長さ20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・bが25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div><div>斜材の種類：鋼製架台</div><div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div><div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div></div> <div><div>架台</div><div></div></div>	
6) 仕様E		<div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>・bが20cm以下は斜材不要</div><div>・bが長さ20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か鉛直吊りボルトを12φにする</div><div>・bが25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div><div>斜材の種類：鋼製架台</div><div>鉛直材長さと対策：20~25cmは機器鉛直吊りボルトを12φにすることで対応</div><div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div><div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div></div> <div><div>架台</div><div></div></div>	
7) その他		<div><div>・在来天井に据付けられている制気口の落下防止</div><div>・排煙口の設置例</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>制気口とダクトやチャンパとを落下防止ワイヤで接続し、天井の破壊を防ぐ</div><div>制気口が床下2m以下には落下しない構造とする</div><div>・押さえアングルを設け、ダクトの浮き上がりを抑制し、天井の破壊を防ぐ</div><div>・新緑を広くして、排煙口と天井のクリアランスを大きくする</div></div> <div><div>吊りボルト</div><div></div></div>	

工事区分表

■は本工事該当項目
○は本工事該当区分

[illegible][illegible][illegible]

項 目		建 築		電 気		機 械		施 主	備 考
		D 建 築	C 外 構	E 昇 降 機	E 電 気	P 衛 生	A 空 調		
L 昇降機・クレーン等									
■	中間ビームの設置工事	○							
■	レールブラケット固定用ファスナー設置工事			○					
□	機械室の軽量コンクリート打設、 六明け及び仕上げ	○							
■	敷居コンクリート持出し及び乗場、 機器取付後の出入口廻り仕上げ	○							
■	三方枠、敷居取付用下地及び 三方枠取付後の裏埋め	○							
■	各階押ボタン及び乗場表示灯の 取付用穴開け、下地及び穴埋め	○							
□	機械室内の手元スイッチ及び エレベーター制御盤一次端子迄の電源配線				○				
□	エレベーター機械室の機械換気						○		
□	エレベーター機械の基礎	○							
□	エレベーター機械室の断熱	○							
■	インターホンの昇降路外の配線				○				建家外は別途電気工事
□	クレーン用トロリー								クレーン工事
□	クレーン用ストッパー	○							
□	クレーン用レールガード	○							1/10車輪用精度確保、 緊ぎ目溶接
□	クレーン用トロリー安全カバー								クレーン工事
□	クレーン運動扉及びシャッター								クレーン工事
□									
□									
M 監視・制御									
□	合併浄化槽の制御盤及び二次側の 電動機端子迄の配線								
□	消火ポンプユニット、給水ユニット等の 制御盤及び二次側配線					○			
■	監視盤に組込む空調用の計測記録、機器類						○		
■	電気計測用検出器具、その変換器				○				
■	同上変換器（盤）より監視盤迄の配線				○				
□	冷凍機、冷水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔 循環ポンプ等のインターロック運動系統配線						○		
□	同上の遠方操作及び遠方表示用記録								
■	空調動力制御盤より空調自動制御盤への 電源供給						○		
□	ボイファの感震装置、緊急遮断及びその配線								
□	オイルサービスタンク及び液面感知器								
□	煙導の煙濃度監視装置の表示盤 （遠方表示接点付）感知器及びその記録								
□	各種水槽の液面感知器及び配線				○				
■	火災発信機併設型の消火栓 （架台、穴空け、加工共）						○		
□	屋根、樋、床の凍結防止ヒーター 制御盤及び二次側配線								
□	配管類の凍結防止ヒーター、制御盤及び 二次側配線								（必要部所が担当）
□									
□									
N その他									
■	正規メーター取付後の電気・水の基本料金							○	施主負担
■	正規メーター取付後の電気・水の使用料金	○	○	○	○	○	○		関係業者の共同負担
■	消火器ボックス	○							
■	消火器本体							○	
■	各種負担金							○	
■	什器・備品							○	
□									
□									

換気計算書

階	室名	面積	天井高	容積	換気方式	人員	1.法定換気量 V=20・Af/N	2.換気回数による計算		3.人員による計算		4.シックハウス対策		電気室 必要換気量	必要風量	決定風量 排気	決定風量 給気	備考	機器番号
		Af [㎡]	(階高) [m]	[㎡]		Af/N [人]		回数 [回/h]	換気量 [㎡/h]	単位風量 [㎡/h・人]	換気量 [㎡/h]	回数 [回/h]	換気量 [㎡/h]						
1	多目的	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C1	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C2	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	検査ギブス	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C3	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C4	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C5	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C6	14.7	2.7	39.7	第1種	3	60	2	79.3	30	90	0.3	11.9		90.0	110	100		
	診察C7	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C8	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C9	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C10	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C11	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察C12	14.7	2.7	39.7	第1種	3	60	2	79.3	30	90	0.3	11.9		90.0	110	100		
	作業	43.4	2.7	117.1	第1種	8	160	2	234.2	30	240	0.3	35.1		240.0	0	250		
2	WC1	3.4	2.7	9.2	第3種			15	138.1						138.1	140	140		FE-4
	待合(北東)	55.3	2.7	149.3	第1種	15	300	2	298.6	30	450	0.3	44.8		450.0	450	450		
	待合(南西)	55.3	2.7	149.3	第1種	15	300	2	298.6	30	450	0.3	44.8		450.0	450	450		
	待合(北西)	136.4	2.7	368.4	第3種	20	400	2	736.8	30	600	0.3	110.5		736.8	750	750		
	面接・指導	13.5	2.7	36.5	第1種	2	40	2	72.9	30	60	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D1	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D2	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D3	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	検査	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	外来化学療法センター	28.2	2.7	76.1	第1種	6	120	2	152.2	30	180	0.3	22.8		180.0	210	200		
	診察D4	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D5	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D6	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	暗室	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
	診察D7	13.5	2.7	36.5	第1種	3	60	2	72.9	30	90	0.3	10.9		90.0	110	100		
明暗	33.8	2.7	91.4	第1種	6	120	2	182.7	30	180	0.3	27.4		182.7	220	200			
作業	37.4	2.7	101.0	第1種	7	140	2	202.0	30	210	0.3	30.3		210.0	0	250			
3	WC2	3.7	2.7	10.1	第3種			15	151.5						151.5	160	160		FE-5
	待合(北東)	55.3	2.7	149.3	第1種	15	300	2	298.6	30	450	0.3	44.8		450.0	450	450		
	待合(南西)	55.3	2.7	149.3	第1種	15	300	2	298.6	30	450	0.3	44.8		450.0	450	450		
	待合(北西)	135.3	2.7	365.4	第1種	20	400	2	730.8	30	600	0.3	109.6		730.8	750	750		
4										24時間換気量合計		800.0	常時給気量合計			6,900		OAHU-1	
													常時排気量合計		6,600		(WC除く)	FE-1	
	電気室	94.7	4.4	416.7	第3種									7478.0	7478.0	7,500	7,500		FE-2
	機械室	61.4	4.3	264.0	第3種			5	1320.1						1320.1	1,350	1,350		FE-3
5	診察C1	13.5	2.7	36.5	第3種			10	364.5						364.5	400	400	局所用	FE-6
	診察C2	13.5	2.7	36.5	第3種			10	364.5						364.5	400	400	局所用	FE-6
	診察C6	14.7	2.7	39.7	第3種			10	396.7						396.7	400	400	局所用	FE-6

機器一覽表

記 号	機 器 名 称	仕 様 ・ 付 属 品 等	数 量	電 源				設 置 場 所	備 考
				k W (W)	相	電 圧	起 動		
DAHU-1	外 気 処 理 空 調 機	<型 式> 垂直型・ガルバリウム鋼板保温パネル <冷却能力> 97.0 kW <冷水入口温度> 7.0 ℃ Δt =5℃ <加熱能力> 47.0 kW <温水入口温度> 50.0 ℃ <処理風量> 6,900 m ³ /h 400Pa (機外静圧) <冷水水量> 276.0 L/min <加温能力> 63.0 kg/h (2重管蒸気式) <蒸気圧> 0.2 MPa (既存蒸気管は加温用を使用) <フィルター> プレフィルター (AFI50%) + 中性能フィルター (NBS60%) <その他> インバータ機能付 (全量モード, 夜間モード)	1	3.7	3	200	L-S	3階 機械室 インバータ本体 (動力室内) (電気工事)	
PAC-1	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン (室外機)	<型 式> 空冷ヒートポンプ式ビル用マルチエアコン・冷暖両時型 <冷房能力> 40.0 kW <暖房能力> 45.0 kW <圧 縮 機> <送 風 機> <C O P> 3.63 (参考値) <付 属 品> スプリング防振架台,アクティブフィルター,標準付属品一式	1	11.4 12.0 (4.0+4.0)X1 0.75+0.75	(消 費 電力) (消 費 電力) 3 3	 200 200		屋上 室外機置場 コンクリート基礎 (建築工事) 融解垂鉛メッキ 鉄骨架台 (H100x100)(本工事)	
PAC-1-1	(室内機)	<型 式> 天井2方向形 <冷房能力> 2.2 kW <暖房能力> 2.5 kW <送 風 機> 420 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	13	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	78 (W) 45 (W) 10 (W)	(消 費 電力) (消 費 電力) 200		1階 多目的 1階 診察C 1 1階 診察C 2 1階 診察C 3 1階 診察C 4 1階 診察C 5 1階 診察C 6 1階 診察C 7 1階 診察C 8 1階 診察C 9 1階 診察C 1 0 1階 診察C 1 1 1階 診察C 1 2	
PAC-1-2	(室内機)	<型 式> 天井2方向形 <冷房能力> 2.8 kW <暖房能力> 3.2 kW <送 風 機> 540 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	2	83 (W) 50 (W) 15 (W)	(消 費 電力) (消 費 電力) 1	 200		1階 作業	
PAC-1-3	(室内機)	<型 式> ビルトイン形 <冷房能力> 2.2 kW <暖房能力> 2.5 kW <送 風 機> 540 m ³ /h <付 属 品> 吸込パネル(キャンバス共),ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ 標準付属品一式, 防振吊金具 <別 売 品> 吹出分岐チャンパー(150φ×2)	1	117 (W) 97 (W) 50 (W)	(消 費 電力) (消 費 電力) 1	 200		1階 検査ブース	

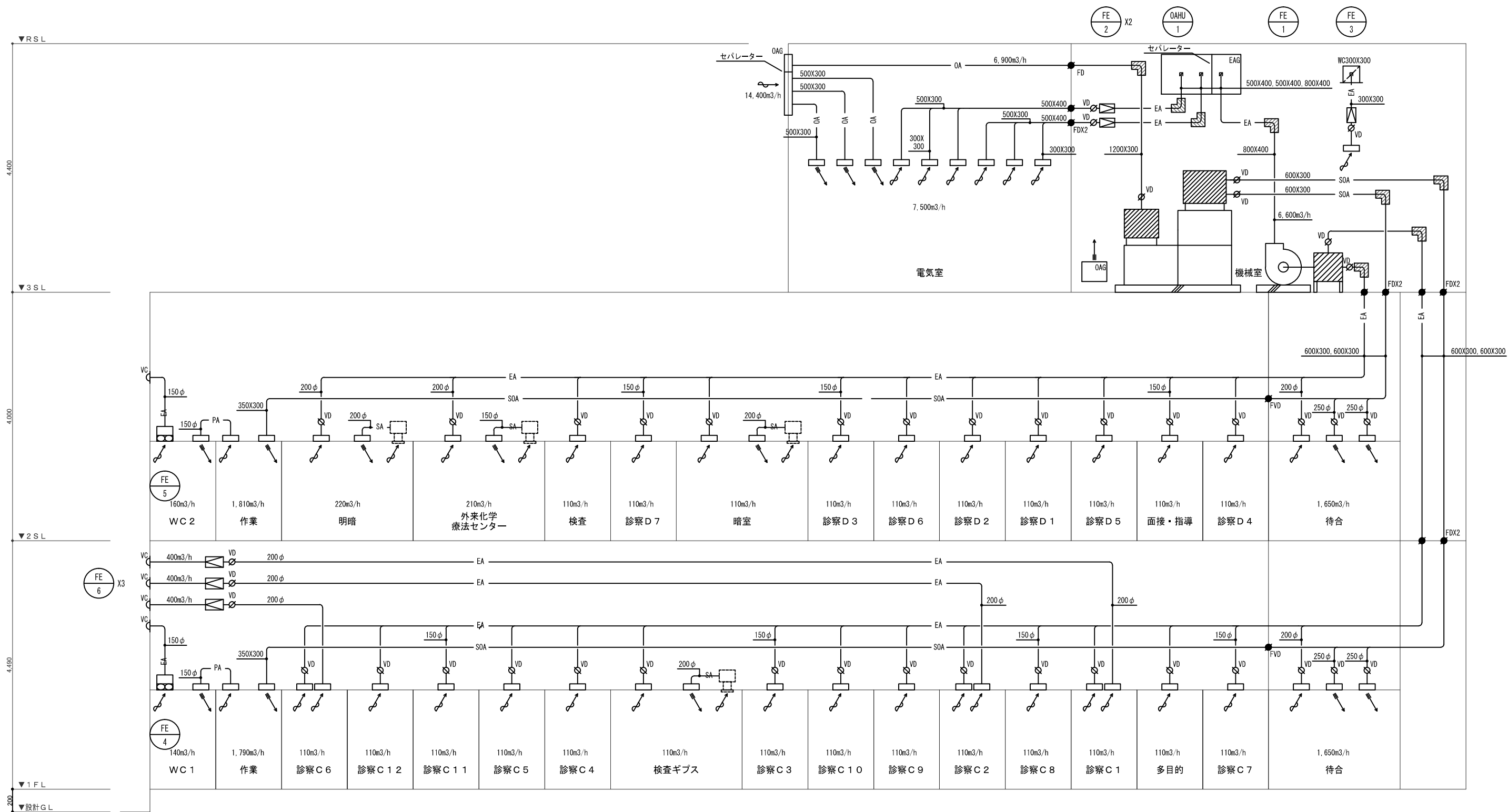
記 号	機 器 名 称	仕 様 ・ 付 属 品 等	数 量	電 源				設 置 場 所	備 考
				kW(Ｗ)	相	電圧	起動		
PAC-2	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン (室 外 機)	<型 式> 空冷ヒートポンプ式ビル用マルチエアコン・冷暖切替型 <冷房能力> 50.0 kW <暖房能力> 56.0 kW <圧 縮 機> <送 風 機> <C O P> 3.29 (参考値) <付 属 品> スプリング防振架台,アクティブフィルター,標準付属品一式	1	16.5 15.8 4.9+5.8 0.46 X2		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 3 200		屋上 室外機置場 融解垂鉛メッキ 鉄骨架台 (H100x100)(本工事)	
PAC-2-1	(室 内 機)	<型 式> 天カセ2方向形 <冷房能力> 4.5 kW <暖房能力> 5.0 kW <送 風 機> 720 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	6 (3) (3)	118 (W) 85 (W) 20 (W)		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 1 200		1階 待合(北東) 1階 待合(南西)	
PAC-2-2	(室 内 機)	<型 式> 天カセ4方向形 <冷房能力> 5.6 kW <暖房能力> 6.3 kW <送 風 機> 960 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	4	52 (W) 38 (W) 56 (W)		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 1 200		1階 待合(北西)	
PAC-3	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン (室 外 機)	<型 式> 空冷ヒートポンプ式ビル用マルチエアコン・冷暖両時型 <冷房能力> 40.0 kW <暖房能力> 45.0 kW <圧 縮 機> <送 風 機> <C O P> 3.63 (参考値) <付 属 品> スプリング防振架台,アクティブフィルター,標準付属品一式	1	11.4 12.0 (4.0+4.0)X1 0.75+0.75		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 3 200		屋上 室外機置場 融解垂鉛メッキ 鉄骨架台 (H100x100)(本工事)	
PAC-3-1	(室 内 機)	<型 式> 天カセ2方向形 <冷房能力> 2.2 kW <暖房能力> 2.5 kW <送 風 機> 420 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	9 (1) (1) (1) (1) (1) (1)	78 (W) 45 (W) 10 (W)		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 1 200		2階 面接・指導 2階 診察D 1 2階 診察D 2 2階 診察D 3 2階 検査 2階 診察D 4 2階 診察D 5 2階 診察D 6 2階 診察D 7	
PAC-3-2	(室 内 機)	<型 式> 天カセ2方向形 <冷房能力> 2.8 kW <暖房能力> 3.2 kW <送 風 機> 540 m ³ /h <付 属 品> 化粧パネル,ロングライフフィルタ,多機能リモコンスイッチ,標準付属品一式	2	83 (W) 50 (W) 15 (W)		(消 費 電 力) (消 費 電 力) 1 200		2階 作業	

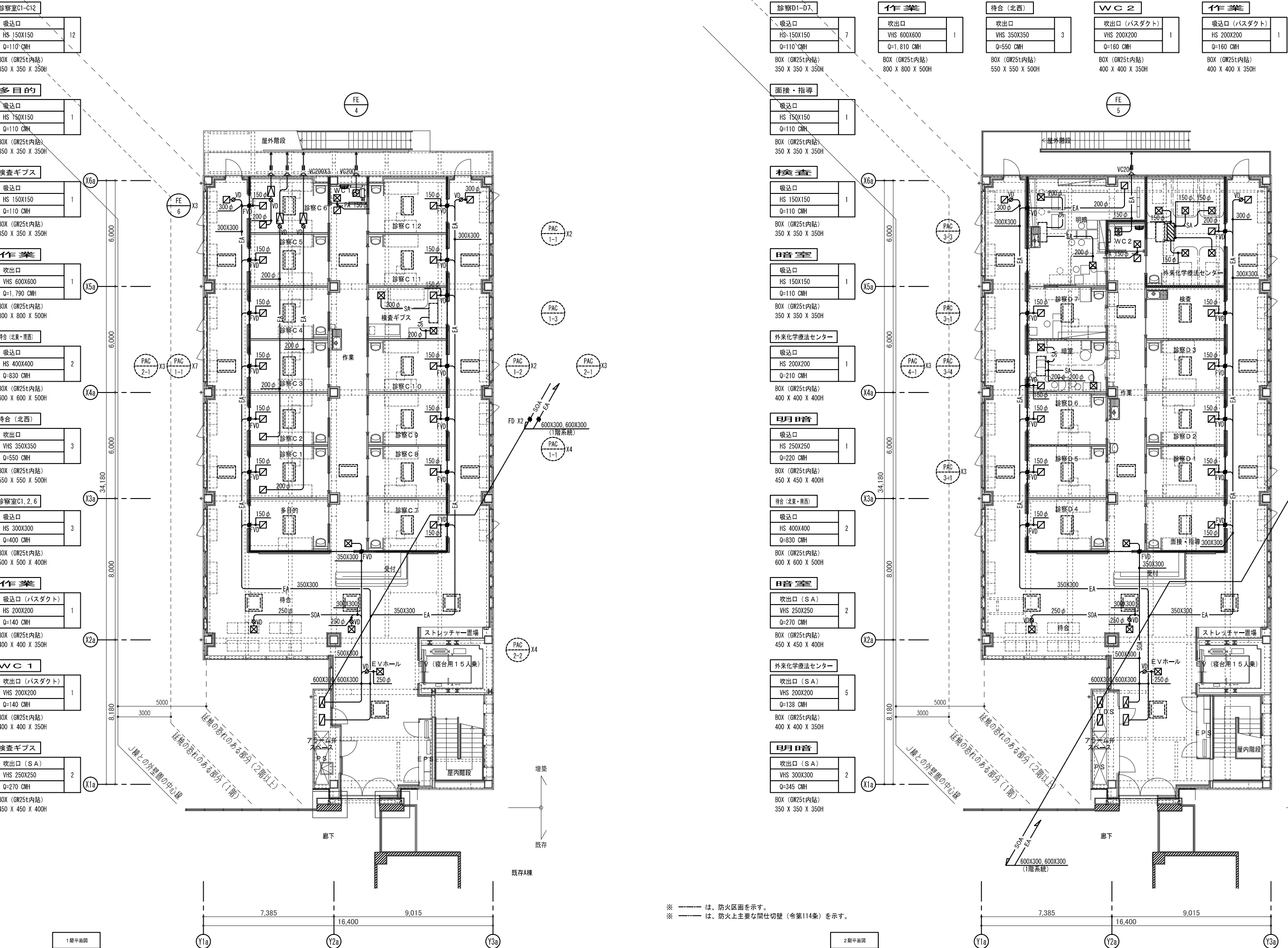
注)・電気容量は参考値とする。
・能力はJIS条件による。
・型番は参考とする。

機器一覽表

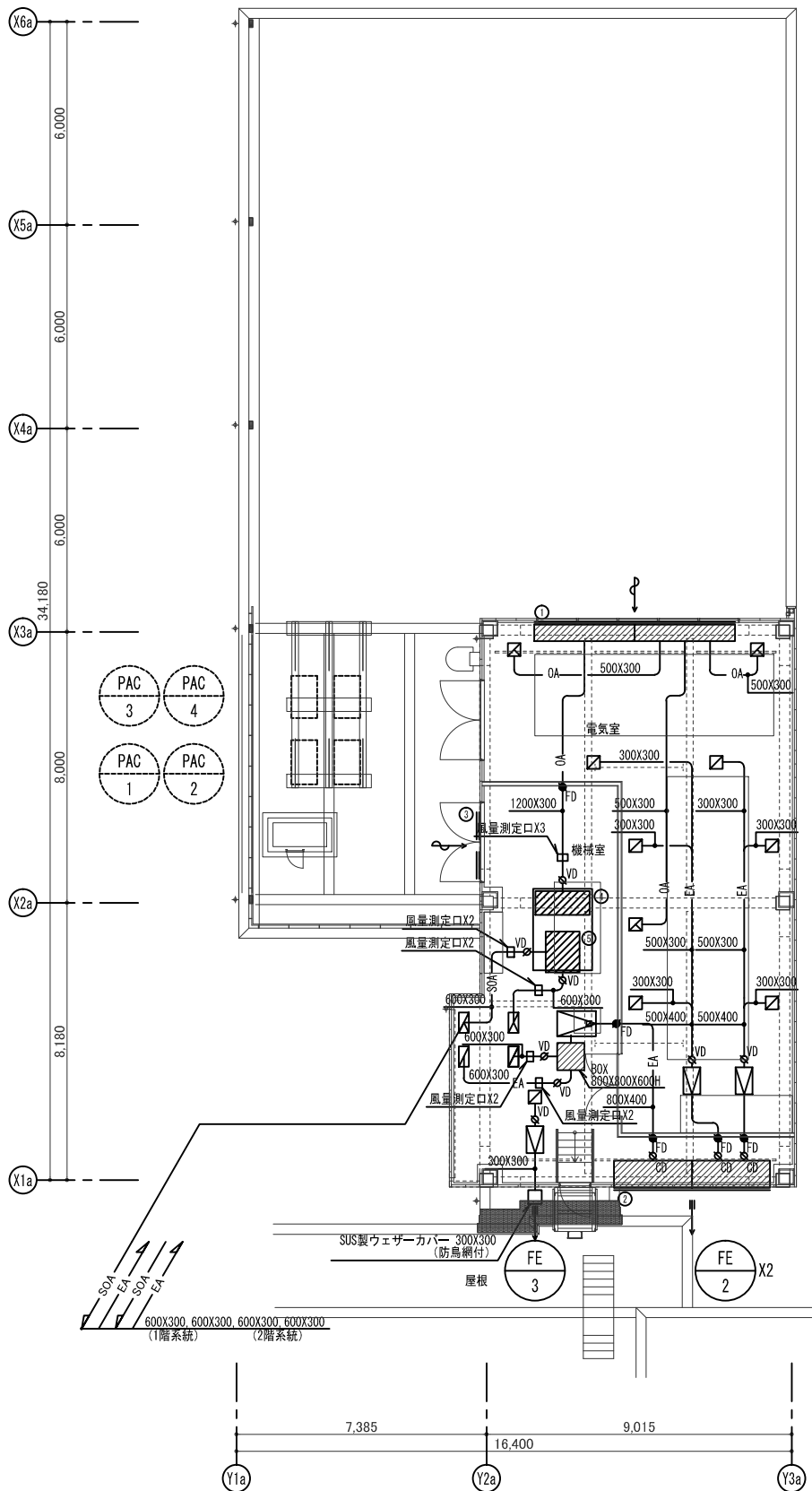
[illegible][illegible]

注)・電気容量は参考値とする。
・能力はJIS条件による。
・型番は参考とする。





※ ——— は、防火区画を示す。
※ - - - - は、防火上主要な間仕切壁（令第114条）を示す。



機械室	
吸込口	
HS 550X550	1
Q=1,350 CMH	

BOX
750 X 750 X 500H

電気室	
吸込口	
HS 500X500	6
Q=1,250 CMH	

BOX
700 X 700 X 500H

電気室	
吹出口	
VHS 750X750	3
Q=2,500 CMH	

BOX
950 X 950 X 500H

電気室 ①	
○ A ガラリ (建築工事)	
5900X500 (開口率35%)	1
Q=14,400 CMH	

BOX (GW25内貼)
5900 X 500 X 500H (中仕切)

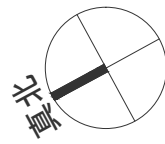
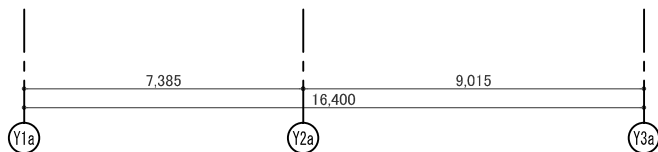
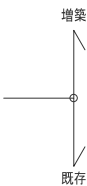
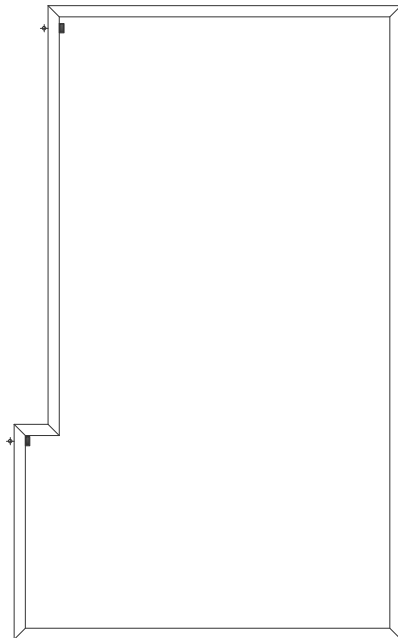
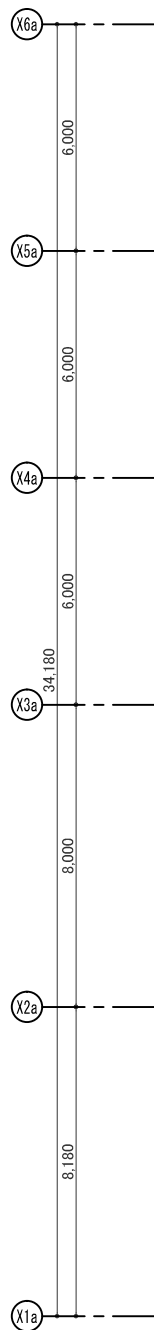
機械室 ②	
E A ガラリ (建築工事)	
3500X700 (開口率35%)	1
Q=14,100 CMH	

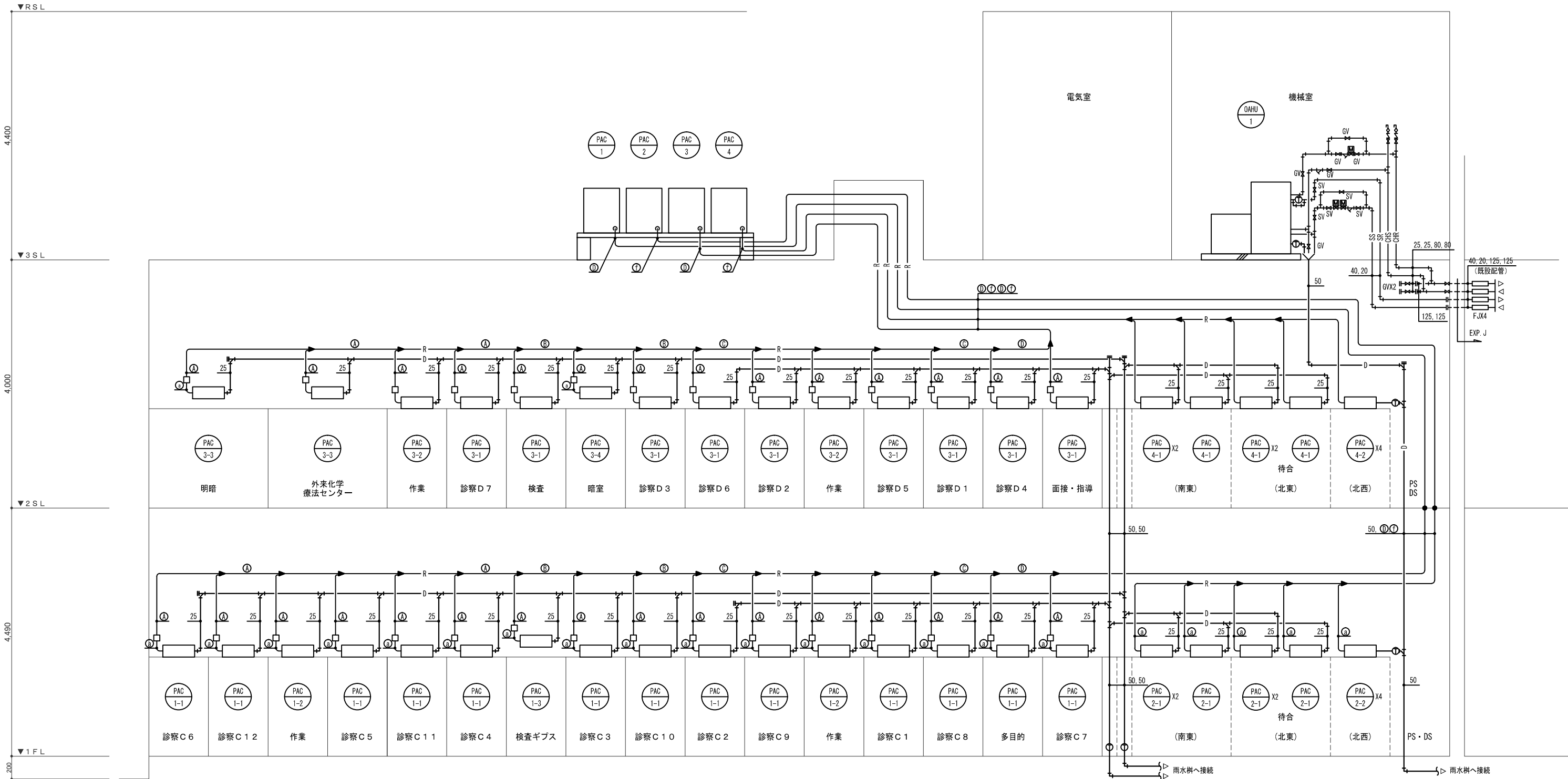
BOX (GW25t内貼)
3500 X 700 X 700H (中仕切)

機械室 ③	
○ A ガラリ (建築工事)	
800X400 (開口率35%)	2
Q=675 CMH	

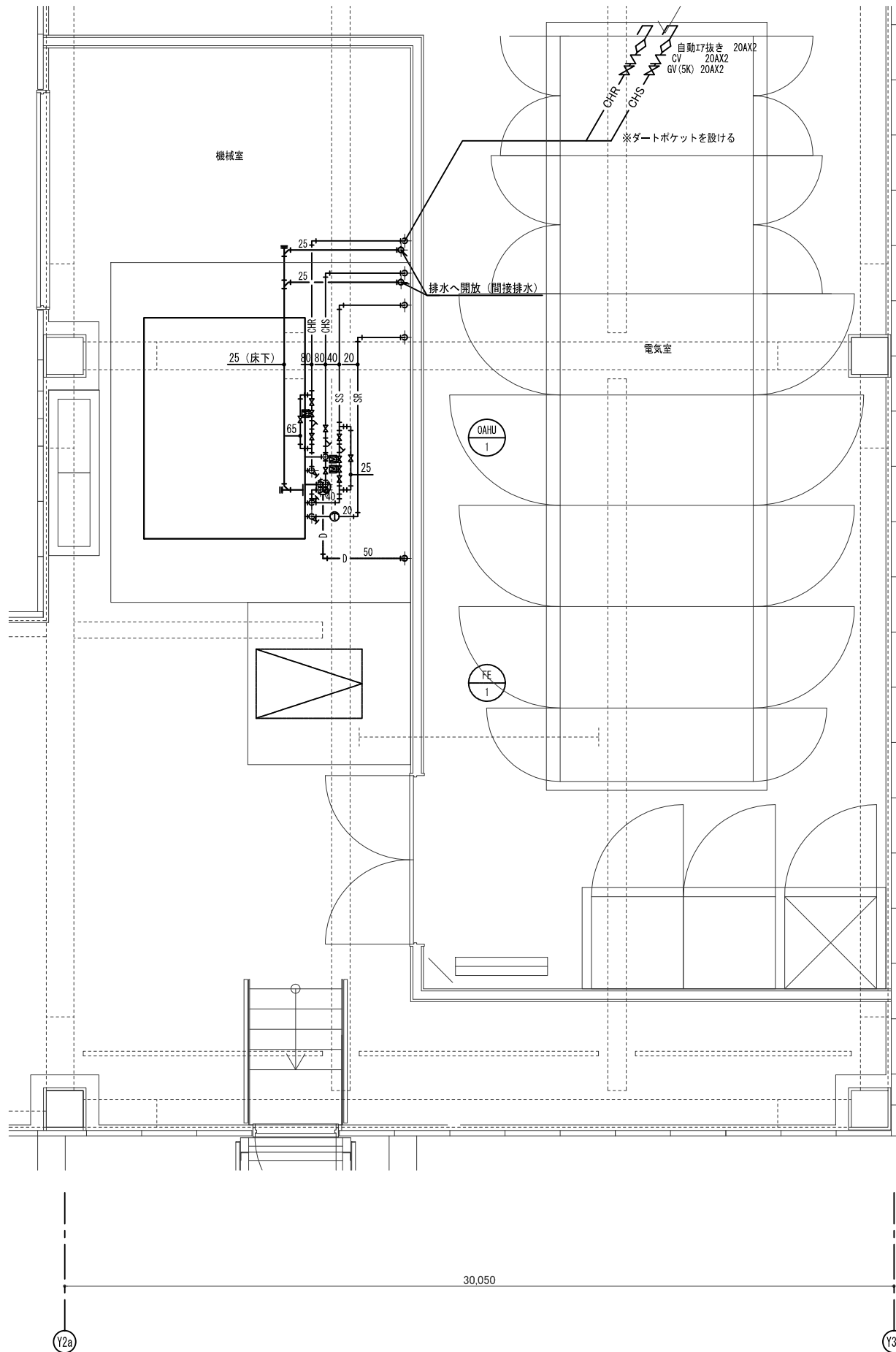
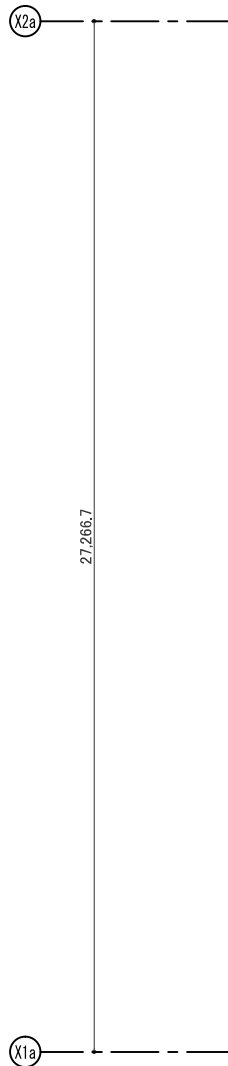
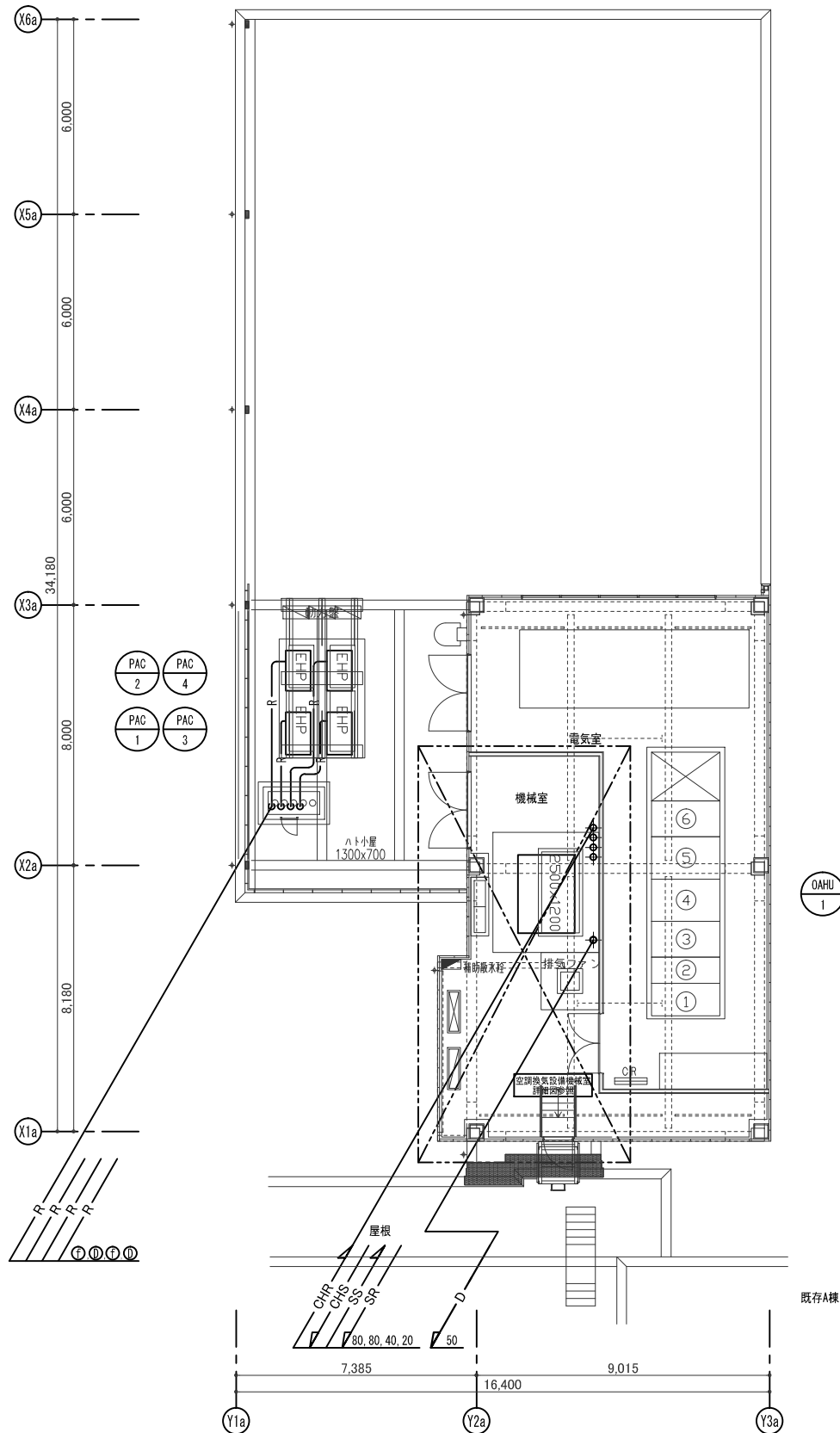
機械室 ④	
○ A チャンバー (OAHU-1)	
1600X700X600H	1
GW25t外貼	

機械室 ⑤	
S O A チャンバー (OAHU-1)	
1200X1000X600H	1
GW25t外貼	

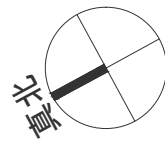




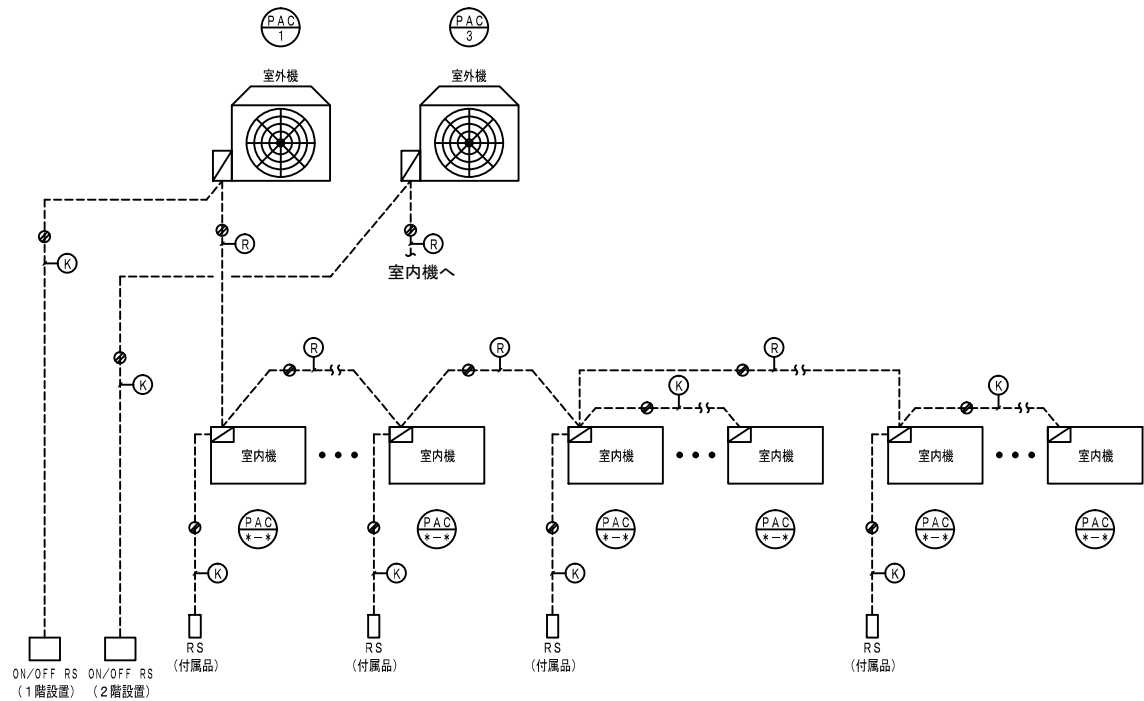
※ □ は、分流コントローラを示す。
※ ● は、区画貫通処理を示す。



OAHU-1	
冷水水往管	
GV (5K)	80A X1
瞬間流量計	X1
温度計	X1
圧力計	X1
Yスト	80A X1
水抜き弁	20A X1
冷水水還管	
GV (5K)	80A X3
GV (5K)	65A X1
ニ方弁	65A X1
温度計	X1
圧力計	X1
Yスト	80A X1
蒸気往管	
SV	40A X3
SV	25A X1
ニ方弁 (比例制御)	25A X1
ニ方弁 (ON-OFF制御)	25A X1
Yスト	40A X1
圧力計	X1
蒸気還管	
SV	20A X1
圧力計	X1
トラップ	20A X1
ドレン	
間接排水口	50A X3

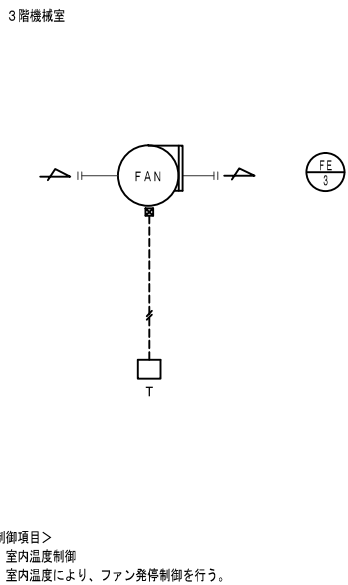


2. マルチパッケージ配線工事













階	部屋名	RS	室内機		室外機	
			記号	台数	記号	ON/OFF RS
1	多目的	1	PAC-1-1	1	PAC-1	○
	診察C 1	1	PAC-1-1	1		
	診察C 2	1	PAC-1-1	1		
	診察C 3	1	PAC-1-1	1		
	診察C 4	1	PAC-1-1	1		
	診察C 5	1	PAC-1-1	1		
	診察C 6	1	PAC-1-1	1		
	診察C 7	1	PAC-1-1	1		
	診察C 8	1	PAC-1-1	1		
	診察C 9	1	PAC-1-1	1		
	診察C 1 0	1	PAC-1-1	1		
	診察C 1 1	1	PAC-1-1	1		
	診察C 1 2	1	PAC-1-1	1		
	作業	1	PAC-1-2	2		
検査ギブス	1	PAC-1-3	1	PAC-2	×	
待合（北東）	1	PAC-2-1	3			
待合（南西）	1	PAC-2-1	3			
待合（北西）	1	PAC-2-2	4			
2	面接・指導	1	PAC-3-1	1	PAC-3	○
	診察D 1	1	PAC-3-1	1		
	診察D 2	1	PAC-3-1	1		
	診察D 3	1	PAC-3-1	1		
	検査	1	PAC-3-1	1		
	診察D 4	1	PAC-3-1	1		
	診察D 5	1	PAC-3-1	1		
	診察D 6	1	PAC-3-1	1		
	診察D 7	1	PAC-3-1	1		
	作業	1	PAC-3-2	2		
	明暗	1	PAC-3-3	1		
	外来化学療法センター	1	PAC-3-3	1		
	明暗	1	PAC-3-4	1		
	待合（北東）	1	PAC-4-1	3		
待合（南西）	1	PAC-4-1	3			
待合（北西）	1	PAC-4-2	4			

5, 温湿度計測 2SETS



計装図凡例

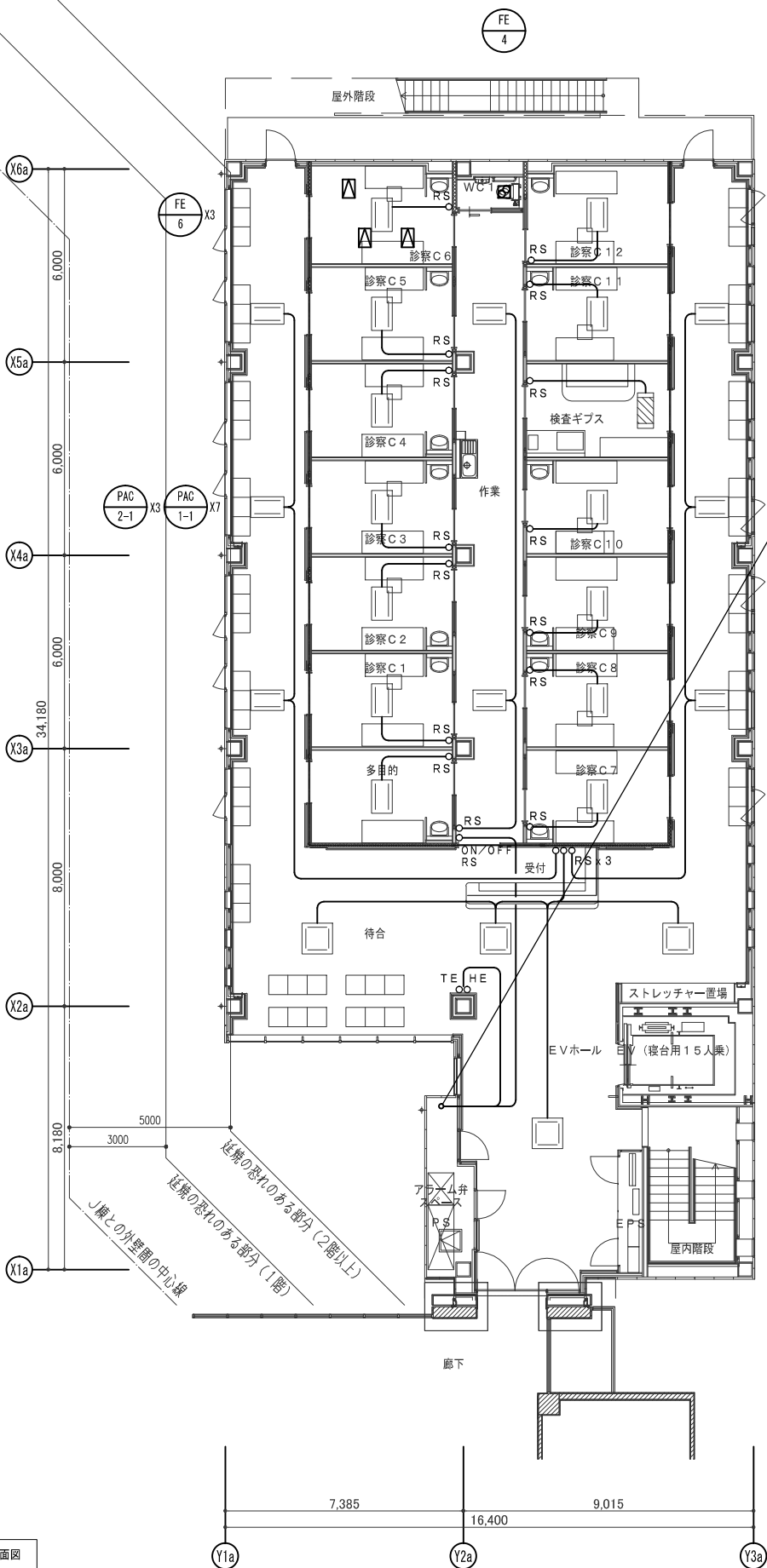
記 号	名 称	型 番	備 考
T	屋内形温度調節器	TY6300Z	
TE	室内型温度検出器	TY7043Z	P t 1 0 0
HE	室内型湿度検出器	HY7043T	
TED	ダクト挿入型温度検出器	TY7803Z	センサーシールド付
DED	ダクト挿入型湿度検出器	HY7903T	センサーシールド付
MV2-1	電動二方弁	VY5110J	バルブ口径表参照
MV2-2	電動二方弁	VY5115J	バルブ口径表参照
SV	電磁弁		バルブ口径表参照
MD	ダンパ操作器	MY6050A	
DDC	デジタル式コントローラ	WY5111	
OP	オペレータパネル	QY5100	
R	補助リレー		
DC	直流電源	RYY792D	DC24V
Tr	トランス	AT72-J1	
ON/OFF RS	ON/OFFコントローラ		PAC付属品
RS	リモコンスイッチ		PAC付属品

1.  : 電線又はケーブル (斜線は本数を示す)
2.  : シールドケーブル
3.  : ファンインターロック
4.  : 低電圧電源 (AC24VまたはDC24V)
5.  : 電源 (AC100Vまたは200V)
6.  : 制御室内収納機器
7.  : 中央と通信
8.  : 計装工事区分 (無記入配線も計装工事区分)
9.  : 電気工事区分
10.  : 冷暖房施工業者区分

流 体 W2: 冷温水 (2 方升), W3: 冷温水 (3 方升), S2: 蒸汽 (2 方升)
单 位 流量 (冷温水: L/min 蒸汽: kg/h) 压力 (P1/P2/ ΔP : kPa)

系 统 名	流 体	流 量	蒸汽 [KPa]		ΔP	計算CV值	口 径 [A]	型 番	定 格 CV 值
			P1	P2					
○AHU-1 冷水水2方升	W2	276.0			30	34.77	40	VY5110J0042	40.0
○AHU-1 加温2方升	S2	63.0	200	140	60	2.85	15	VY5115J0015	4.0
○AHU-1 蒸汽遮断弁	S2						25		

盤名称	形 状	盤 寸 法 (参考)			制 御 内 容	備 考
		W	H	D		
RP-31	屋内自立盤	1,400	1,950	450	外調機廻り制御	

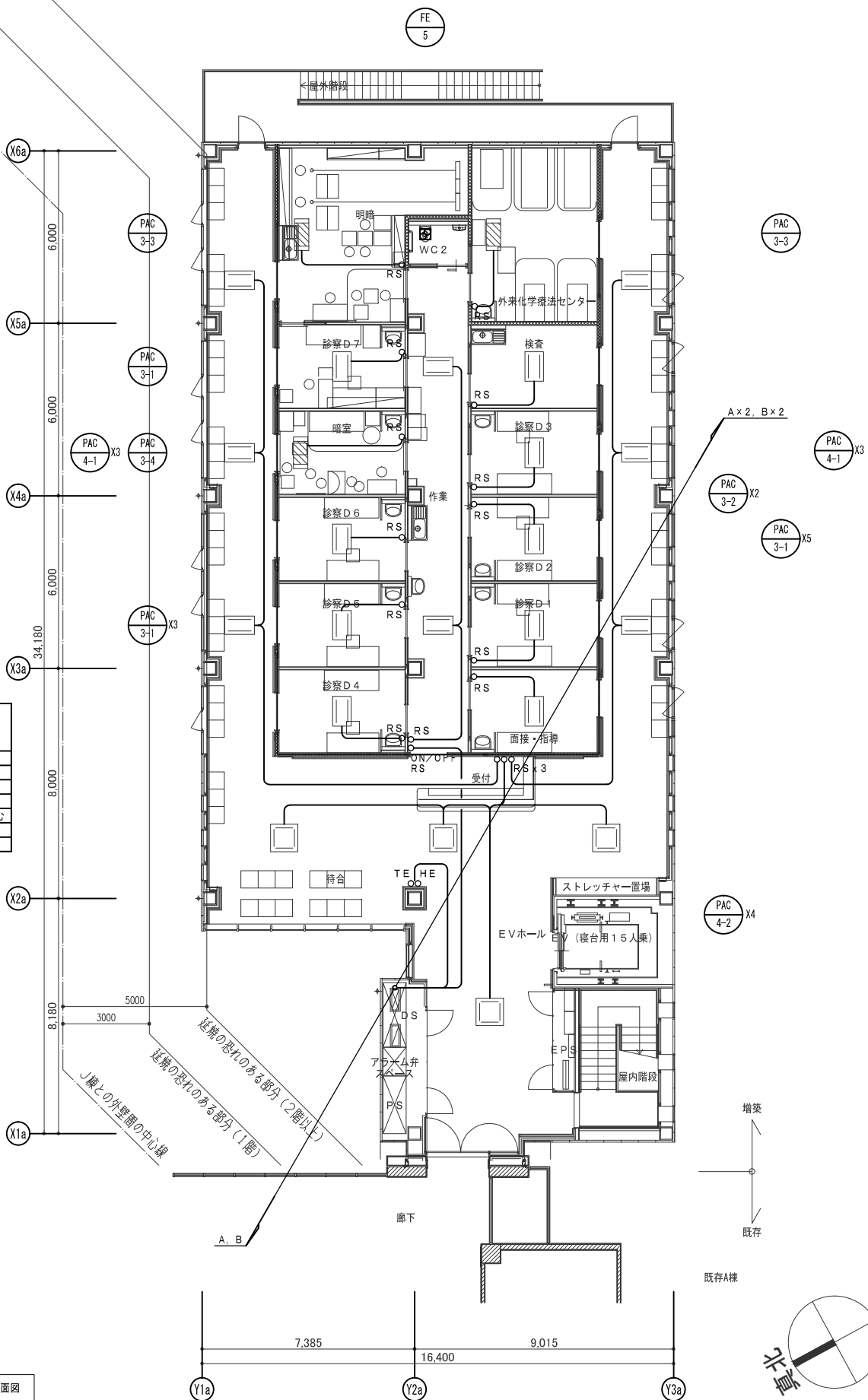


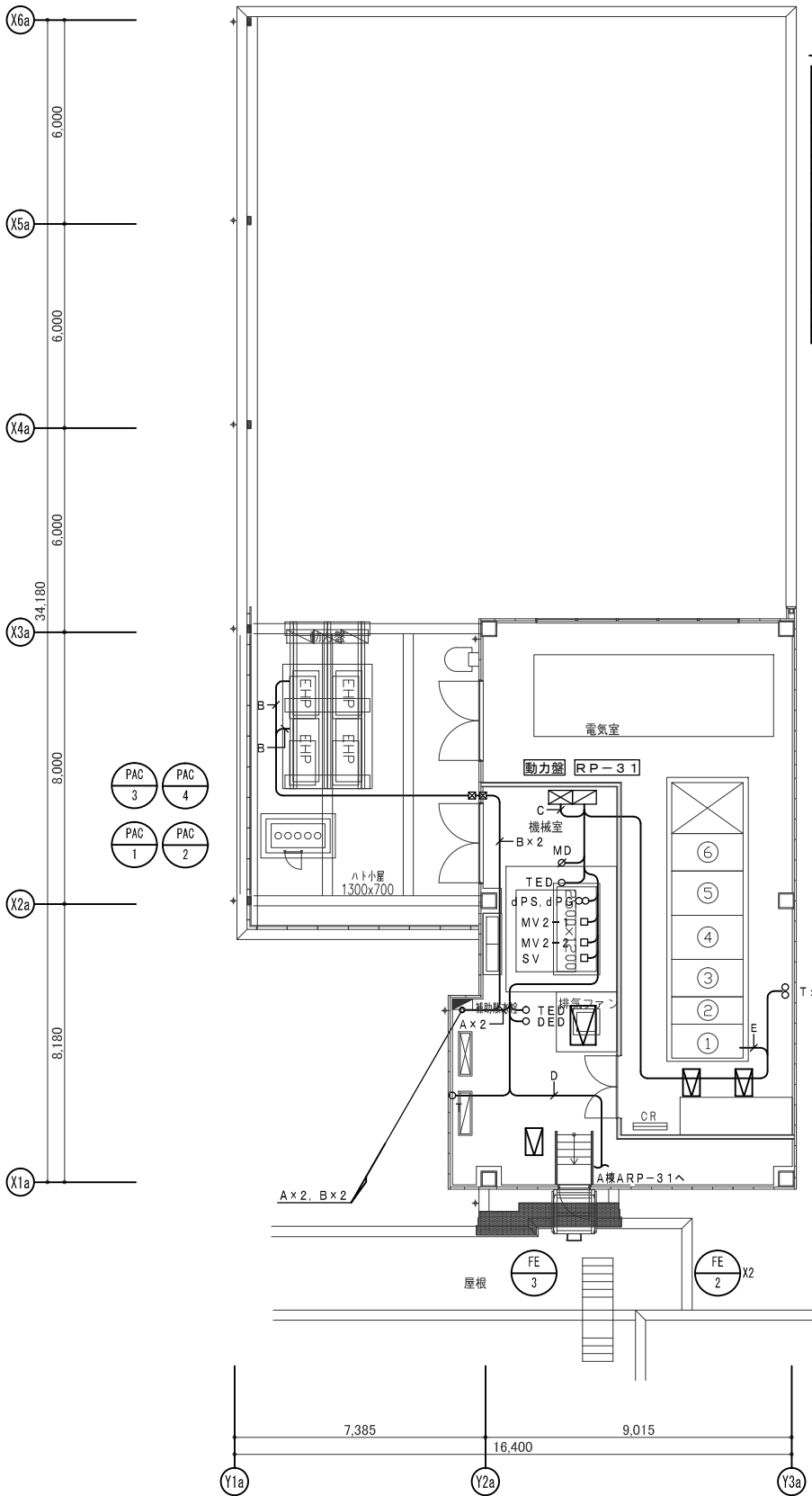
配管配線凡例表

記号	シンボル	配 線	配 管				備 考
			屋内 (露出)	屋内 (隠蔽)	屋内 (天井ふところ)	屋 外	
TE	○	EM-CEE 2sq - 3C	E25	PF22	コロガシ	G22	
HE	○	EM-CEES 2sq - 4C	E25	PF22	コロガシ	G22	
RS	○	EM-CEES 2sq - 2C	E25	PF22	コロガシ	G22	室内機連動渡り配線含む
ON/OFF RS	○	EM-CEES 2sq - 2C	E25	PF22	コロガシ	G22	

配管配線内訳表

-A-						
EM-CEE	2sq	- 3C	(E25)	TE		
EM-CEES	2sq	- 4C	(E25)	HE		
-B-						
EM-CEES	2sq	- 2C	(E25)	ON/OFF RS		



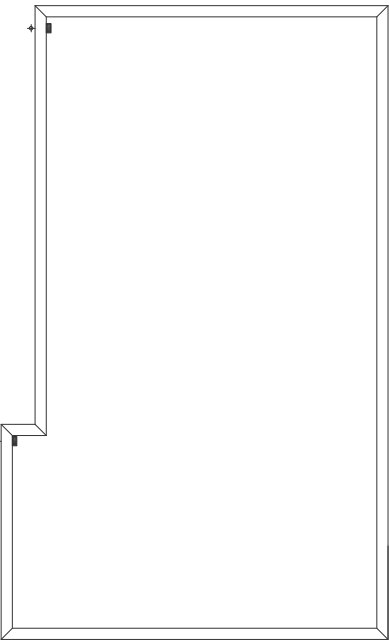


配管配線凡例表

記 号	シンボル	配 線	配 管				備 考
			屋内 (露出)	屋内 (隠蔽)	屋内 (天井ふところ)	屋 外	
T	○	EM-CEE 2sq - 2C	E25	PF22	コロガシ	G22	
TED	○	EM-CEE 2sq - 3C	E25	PF22	コロガシ	G22	
DED	○	EM-CEES 2sq - 4C	E25	PF22	コロガシ	G22	
MV2-1	□	EM-CEE 2sq - 6C	E31	PF28	コロガシ	G28	
MV2-2	□	EM-CEE 2sq - 6C	E31	PF28	コロガシ	G28	
SV	□	EM-CEE 2sq - 2C	E25	PF22	コロガシ	G22	
MD	∅	EM-CEE 2sq - 3C	E25	PF22	コロガシ	G22	
dPS	○	EM-CEE 2sq - 2C	E25	PF22	コロガシ	G22	
dPG	○	6φ ポリチューブ	E25	PF22	コロガシ	G22	

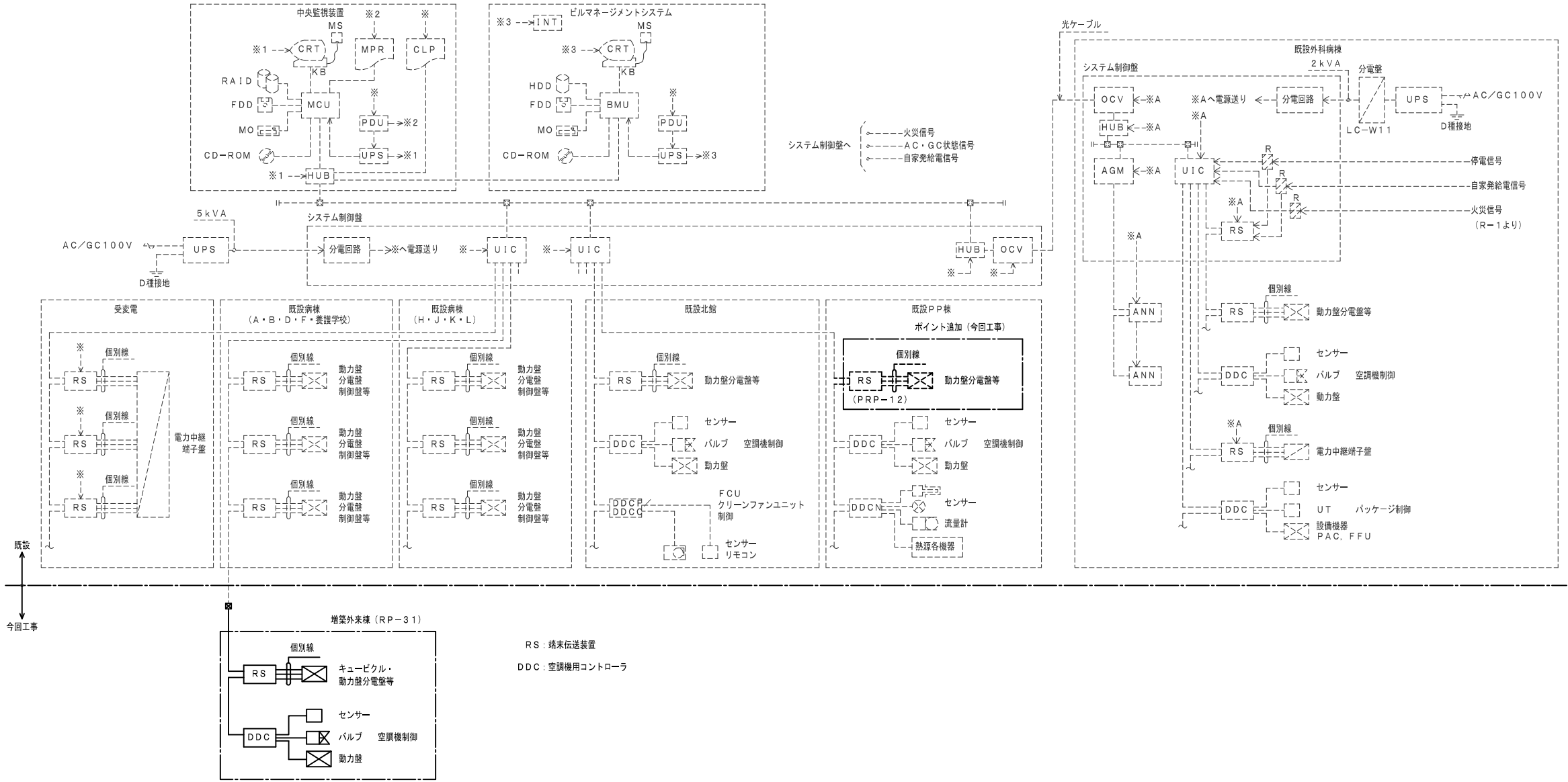
配管配線内訳表

-A-			
EM-CEE	2sq	- 2C (E25)	TE
EM-CEES	2sq	- 4C (E25)	HE
-B-			
EM-CEES	2sq	- 2C (E25) (G22) ON/OFF RS	
-C-			
EM-KPEES0.75-10P	x(31)	x2	信号線
EM-CE	2sq	- 3C (E25)	RP-31電源
-D-			
EM-YTW-D		(E25) (G22)	幹線
EM-MEES	2sq	- 2C (E25) (G22)	インターホン
-E-			
EM-KPEES0.75-10P	x(15)	x15	受変電信号線

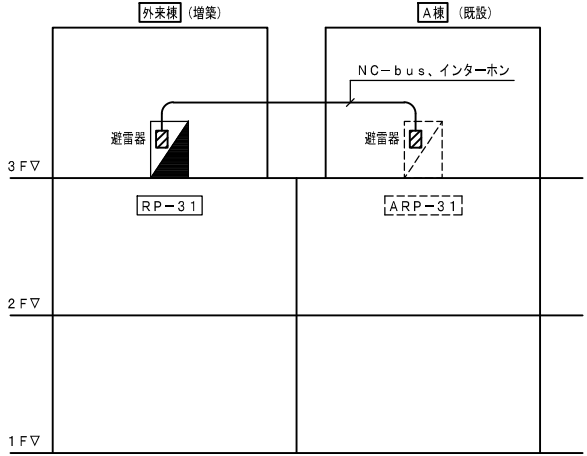


増築
既存

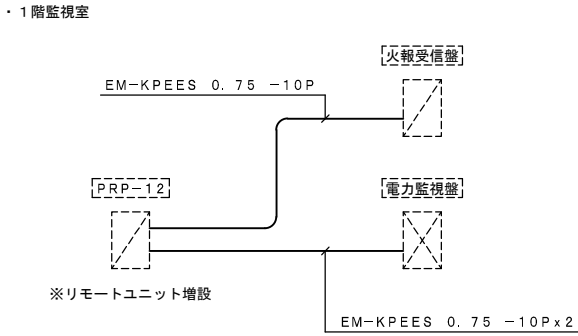
1. システム構成図



2. 中央監視幹線系統図



3. 既設P P棟ポイント取合システム図



監視標準取合い回路図																															
入出力項目	発停・状態・故障				発停・状態				発停・状態 (ON-OFF-AUTO)				発停・状態 (OFF-Hi-Lo)				切替出力		制御出力	状態又は警報監視	状態・故障監視	入出力項目									
	パルス接点出力		接点入力		パルス接点出力		接点入力		パルス接点出力		連続接点出力		接点入力		パルス接点出力		パルス接点出力		接点入力		連続接点出力		接点入力		連続接点出力		接点入力		接点入力		
リモートユニット																								リモートユニット							
接続ケーブル (外部配線)	0.9mm 又は 0.9sq 以上				0.9mm 又は 0.9sq 以上				0.9mm 又は 0.9sq 以上				0.9mm 又は 0.9sq 以上				0.9mm 又は 0.9sq 以上				0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	0.9mm 又は 0.9sq 以上	接続ケーブル (外部配線)
現場側機器 動力盤 分電盤 機側盤 等																								現場側機器 動力盤 分電盤 機側盤 等							
備 考	・ 接点入力は、無電圧 a 接点連続の事。 ・ 状態確認用入力は補助リレー (52X) 側を使用。 ・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA				・ 接点入力は、無電圧 a 接点連続の事。 ・ 状態確認用入力は補助リレー (52X) 側を使用。 ・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA				・ 接点入力は、無電圧 a 接点連続の事。 ・ 状態確認用入力は補助リレー (52X) 側を使用。 ・ AUTはメインテナンスとして、リレーをメイクします。 ・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA				・ 接点入力は、無電圧 a 接点連続の事。 ・ 状態確認用入力は補助リレー (52HX、52LX) 側を使用。 ・ 中央監視での状態不一致監視は行いません。 ・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA				・ 接点入力は、無電圧 a 接点連続の事。 ・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA				・ 接点定格 AC、DC24V 0.5Amax ・ 最小適応負荷 5V 10mA	・ 無電圧 a 接点連続の事。	・ 無電圧 a 接点連続の事。	備 考							

入出力項目	アナログ入力						積算入力	アナログ出力			コントロールモータ出力						入出力項目			
	側温抵抗体入力		電流入力		電圧入力	電流出力		電圧出力			コントロールモータ出力									
リモートユニット																			リモートユニット	
接続ケーブル (外部配線)	1.25sq 以上		シールド 1.25sq 以上		シールド 1.25sq 以上	シールド 1.25sq 以上		シールド 1.25sq 以上		シールド 1.25sq 以上			1.25sq 以上						接続ケーブル (外部配線)	
現場側機器 動力盤 分電盤 機側盤 等																			現場側機器 動力盤 分電盤 機側盤 等	
備 考	・ 入力信号 Pt100Ω ・ 設定可能レンジ 0~100℃ 0~50℃ -20~80℃ -20~30℃ -50~100℃		・ 入力信号 4~20mA ・ 入力インピーダンス 250Ω ・ アイソレート 無し		・ 入力信号 2~10V/0~10V 1~5V/0~5V ・ 入力インピーダンス 500kΩ ・ アイソレート 無し	ON/OFF時間 各々30ms以上 ON+OFF時間 100ms以上 		・ 出力信号 4~20mA ・ 最大負荷抵抗 500Ω以下 ・ アイソレート 有り		・ 出力信号 2~10V/0~10V 1~5V/0~5V ・ 最小負荷抵抗 10kΩ以上 ・ アイソレート 有り			・ 接点定格 AC、DC24V 1.0Amax ・ 入力信号 3線式フィードバックポテンシオメータ 負荷抵抗範囲 100~10kΩ						・ 接点定格 AC、DC24V 1.0Amax ・ 入力信号 3線式フィードバックポテンシオメータ 負荷抵抗範囲 100~10kΩ	備 考

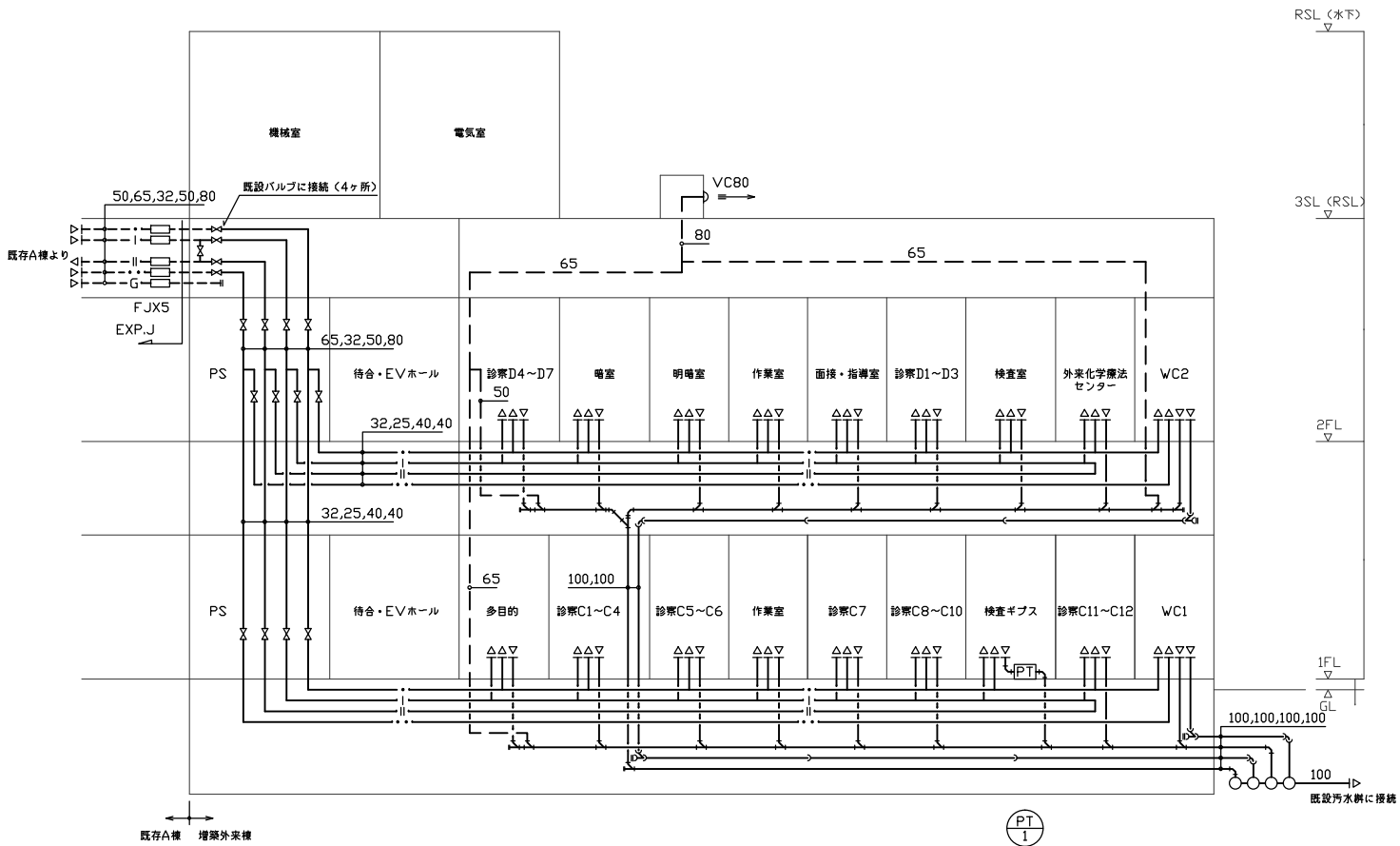
機 器 一 覽 表

[illegible]

衛生器具一覽表

器具名称	型番	仕 様 ・ 付 属 品 等	電 源	1 階				2 階							合 計	備 考	
				多目的室 診療室 C1と C2	検査 室 ア プ ス 室	作業 室	W C 1	図 様 ・ 指 導 室	診 察 室 D1 と D7	検 査 室	外 来 化 学 療 法 セン ター	作 業 室	W C 2	暗 室			明 暗 室
尿量測定便器		機器支給 リモコン付洗浄便座,タッチスイッチ共	1φ100V				(1)									(1)	取付工事及び配管接続は本工事
同上用紙巻器	YH701	(欄付二連紙巻器)	—				1									1	
洋 風 便 器	UAXC1NPAR	TCF4721V81W(リモコン付洗浄便座), TCA88, UACN21R3WW, TL347CU,YH701(欄付二連紙巻器),UTR850AY(取付けスタンド)	1φ100V										1			1	
手 洗 器	LSE870AP	(自動単水栓)	1φ100V				1						1			2	
洗 面 器	L250C	TEN87G1(サーモ付自動水栓), TL250D, T7PW1	1φ100V	1	12				1	7		1	1		1		24
自動混合水栓	TEN87G1	グースネック式(サーモ付自動水栓)	1φ100V				1				1		1		1		4
シングルレバー混合水栓	TKGG32EB	TL340C5U×2	—				1										1
流 し 台		建築工事															
手 す り		建築工事															
化 粧 鏡		建築工事															

系統図

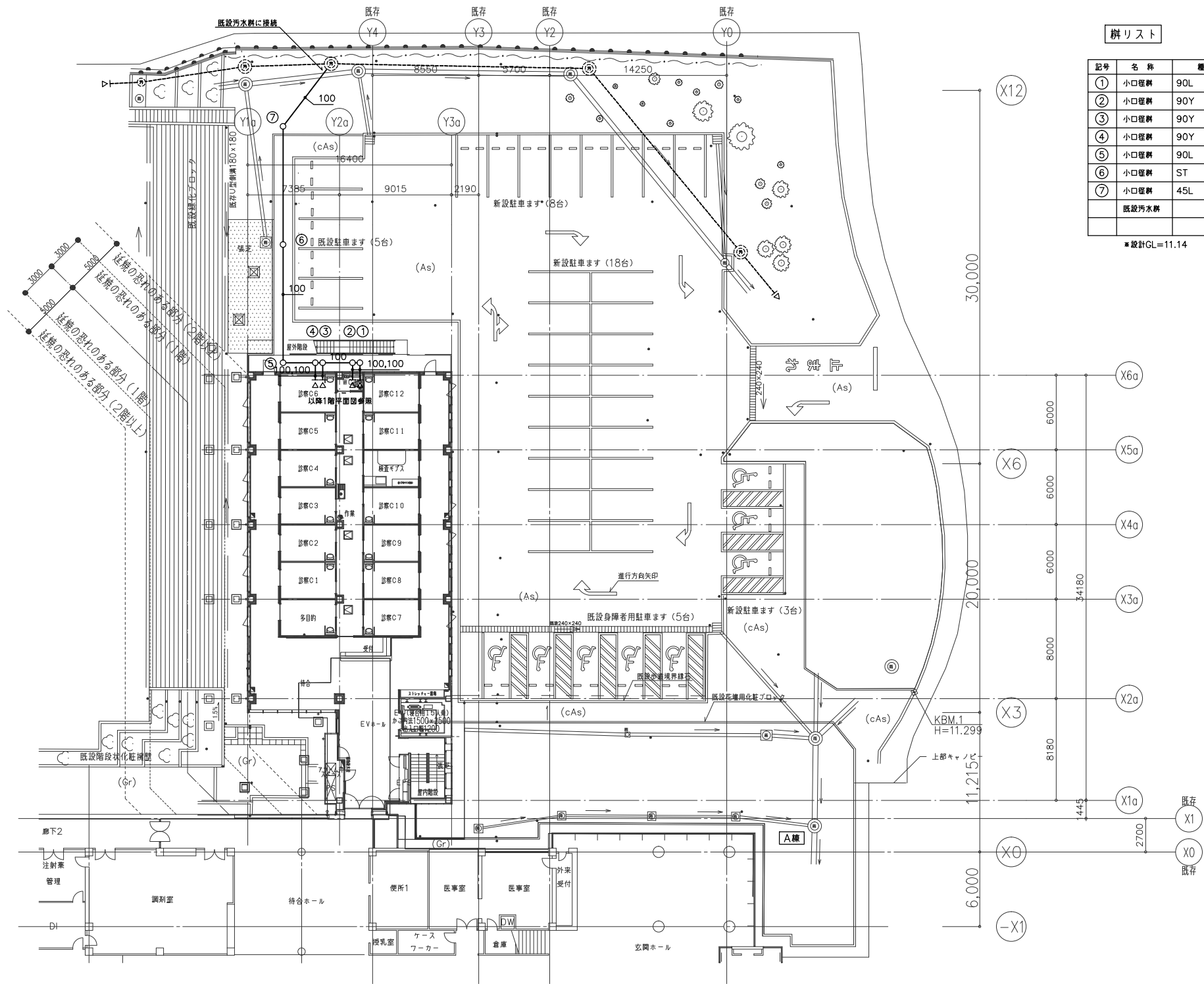


凡 例

記 号	種 類	備 考
——・——	給水管（上水）	
——・・——	給水管（雑用水）	
——Ⅰ——	給湯管（往）	
——Ⅱ——	給湯管（還）	
——ㄣ——	汚水管	
——	雑排水管	
—— — — —	通気管	
——G——	都市ガス管	

※ 配管材料は特記仕様書による。

※ --- : 既設配管を示す。

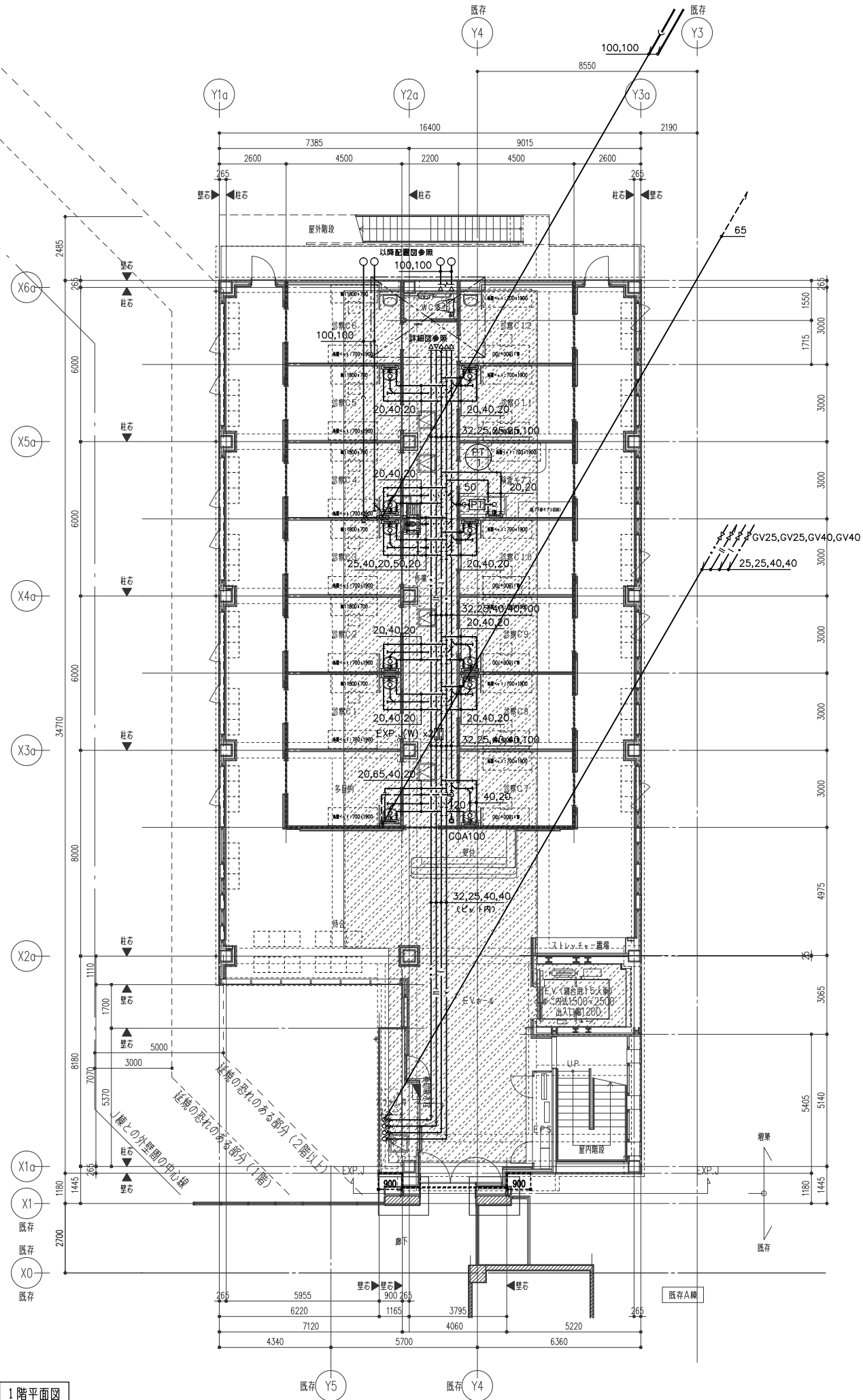


樹リスト

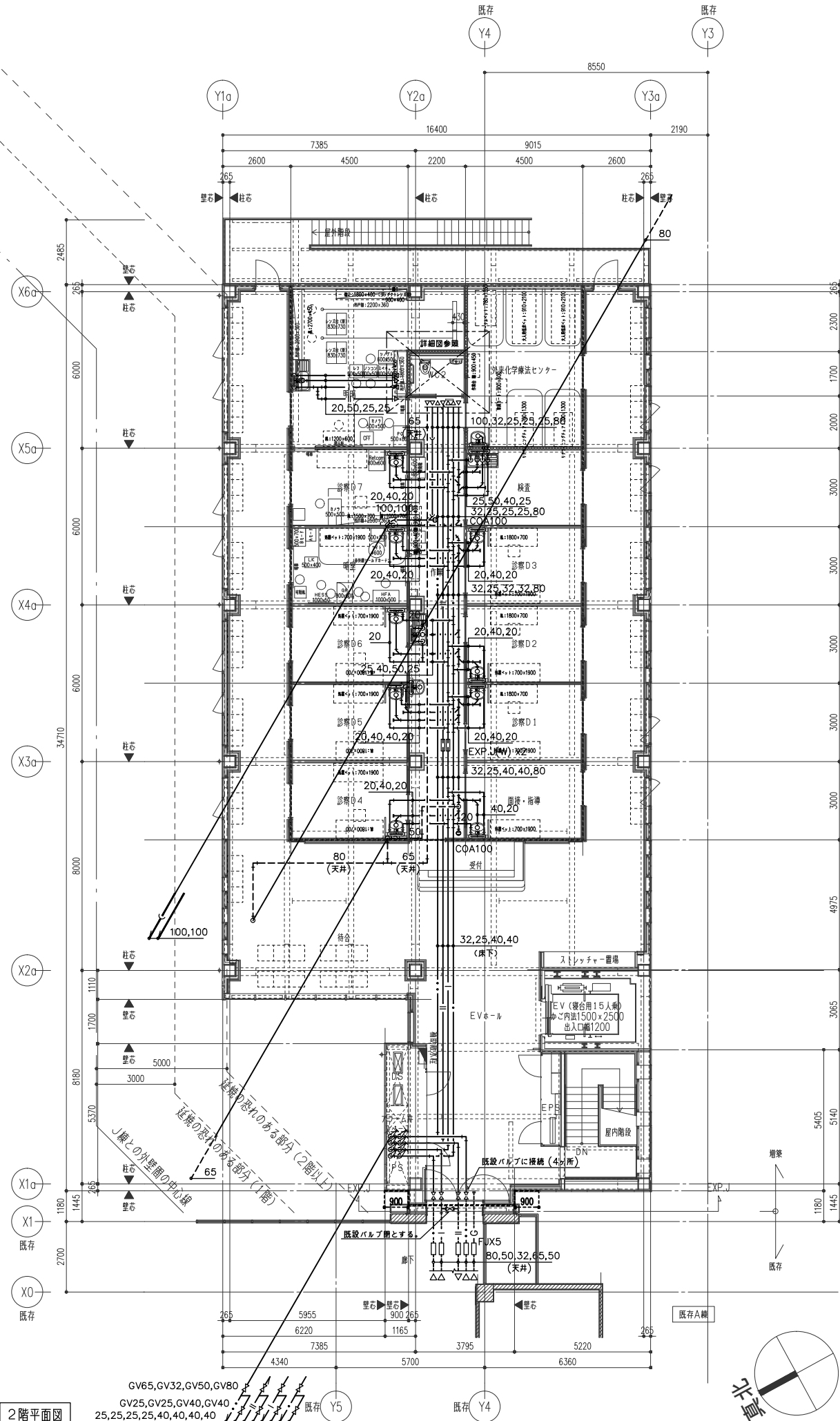
記号	名 称	種 類	量	管底深さH (GL±)	地盤高	埋設深さ	備 考
①	小口径井	90L 100-200	塩ビ製 200φ	-530	11.16	550	
②	小口径井	90Y 100-200	塩ビ製 200φ	-540	11.16	560	
③	小口径井	90Y 100-200	塩ビ製 200φ	-570	11.12	550	
④	小口径井	90Y 100-200	塩ビ製 200φ	-580	11.12	560	
⑤	小口径井	90L 100-200	塩ビ製 200φ	-610	11.07	540	
⑥	小口径井	ST 100-200	塩ビ製 200φ	-710	11.17	740	
⑦	小口径井	45L 100-200	塩ビ製 200φ	-810	11.22	890	
	既設汚水井			-900	11.24	1,000	インバート改修

※設計GL=11.14


凡例	
記 号	名 称
——	新設配管
----	既存配管



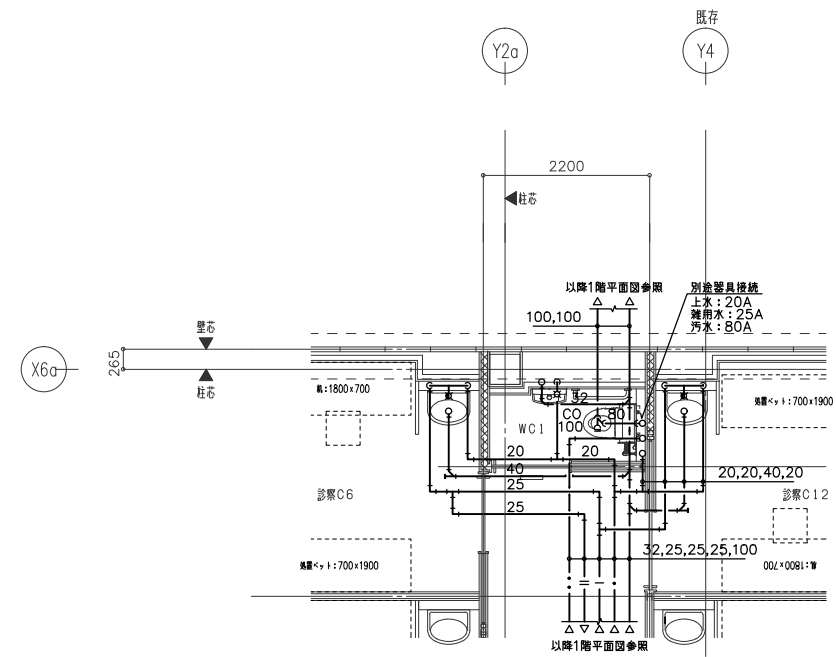
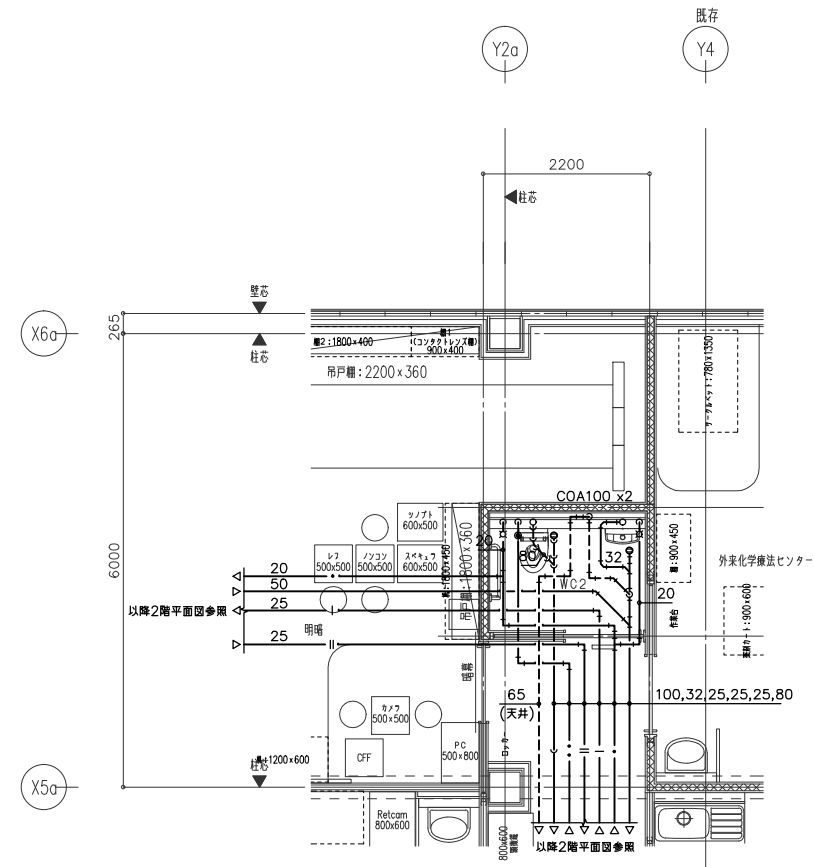
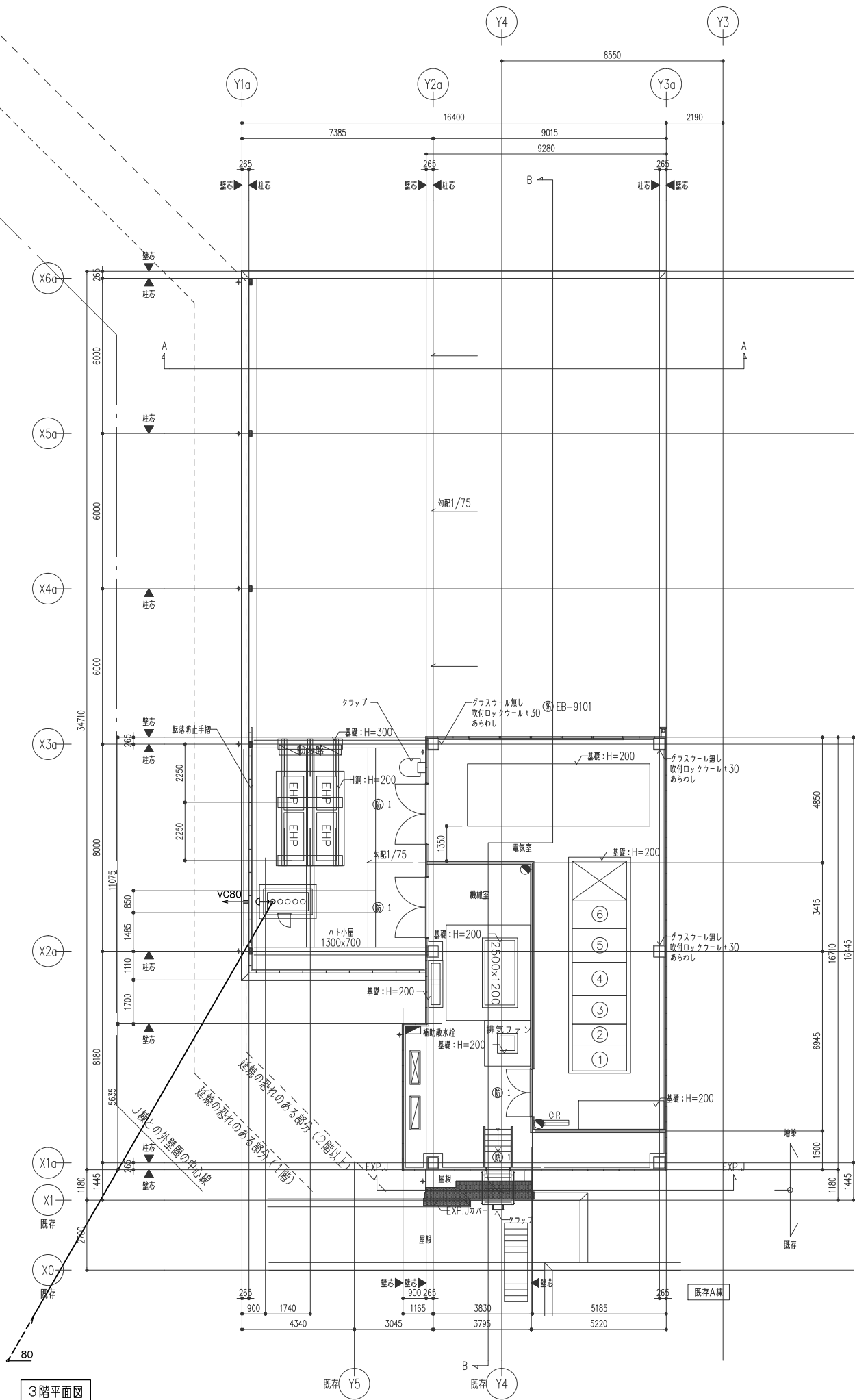
1階平面図



2階平面図

※ ----- : 既設配管を示す。
※  : ピットエリアを示す。

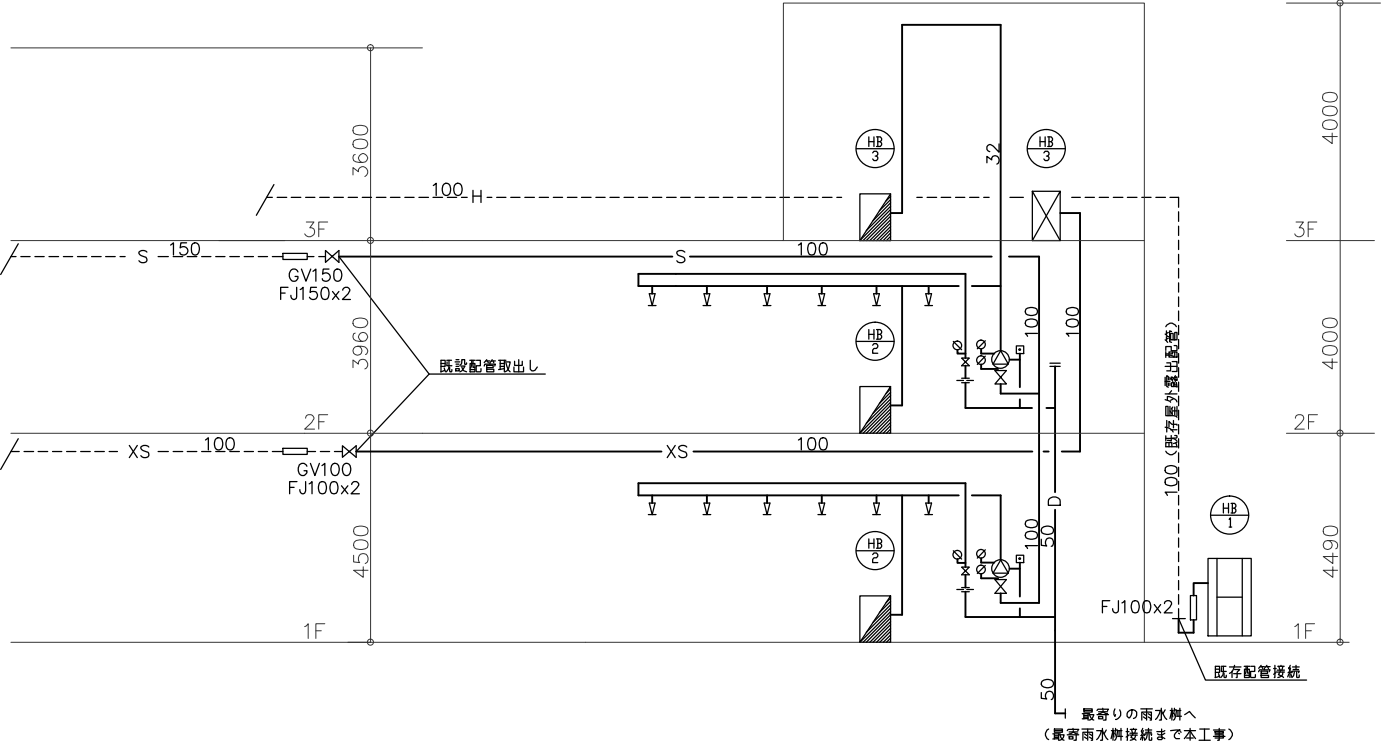
GV65, GV32, GV50, GV80
GV25, GV25, GV40, GV40
25, 25, 25, 25, 40, 40, 40, 40



凡例				HR 2	HR 3	補助散水栓姿図	—	(参考)	HR 4	連結送水管放水口姿図	—	(参考)
記 号	名 称	備 考										
○ ▽	閉鎖型SPヘッド	72℃	●96℃									
⊗	アーム弁	スプリンクラー用 100A										
⊗	仕切弁	JIS-10k										
N	逆止弁	JIS-10k										
∅	圧力計											
≡	オリフィス											
—□—	フレキシブルチューブ											
□	送水口											
—SP—	スプリンクラー配管	JIS-G3452 (白)										
—XS—	連結送水管	JIS-G3454 Sch40 (既設配管の一部JIS-G3452 (白))										
—H—	屋外消火栓配管	JIS-G3452 (白)										
—D—	排水配管	JIS-G3452 (白)										
-----	既存配管											
■	補助散水栓	25A										
⊗	放水口	65A										
□	屋外消火栓	65A 箱はSUS製										

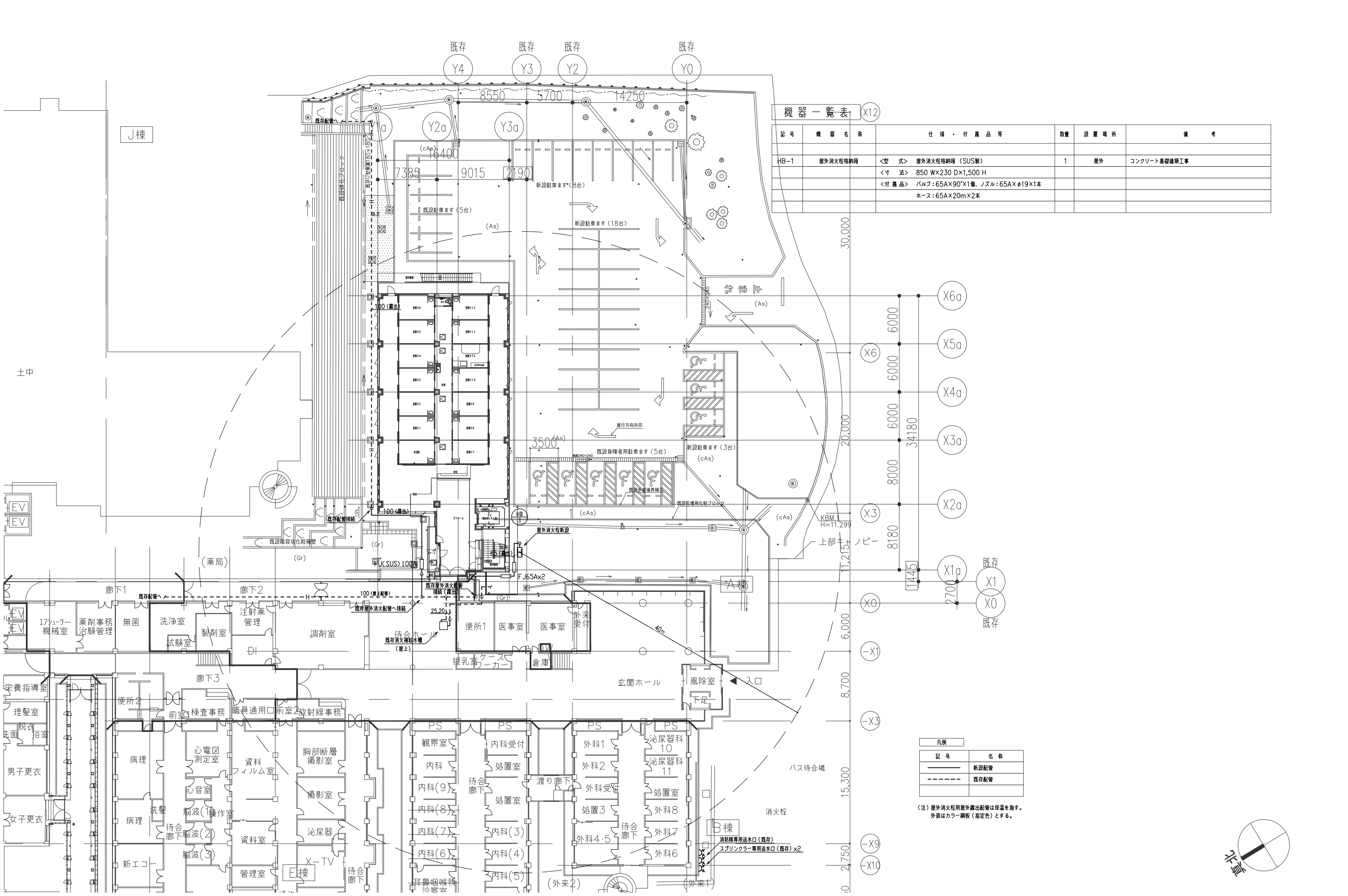
	<p>補助散水栓 埋込・露出</p> <p>消火栓弁 25A x 1 ホース 25A x 20m x 1 噴霧切替ノズル 25A x 1 表示灯 (電気工事) 発信機 (電気工事) 鋼板製 指定色焼付塗装仕上</p>

	<p>放水口 露出</p> <p>消火栓弁 65A x 1 表示灯 (電気工事) 鋼板製 指定色焼付塗装仕上</p>



A 棟

増築棟

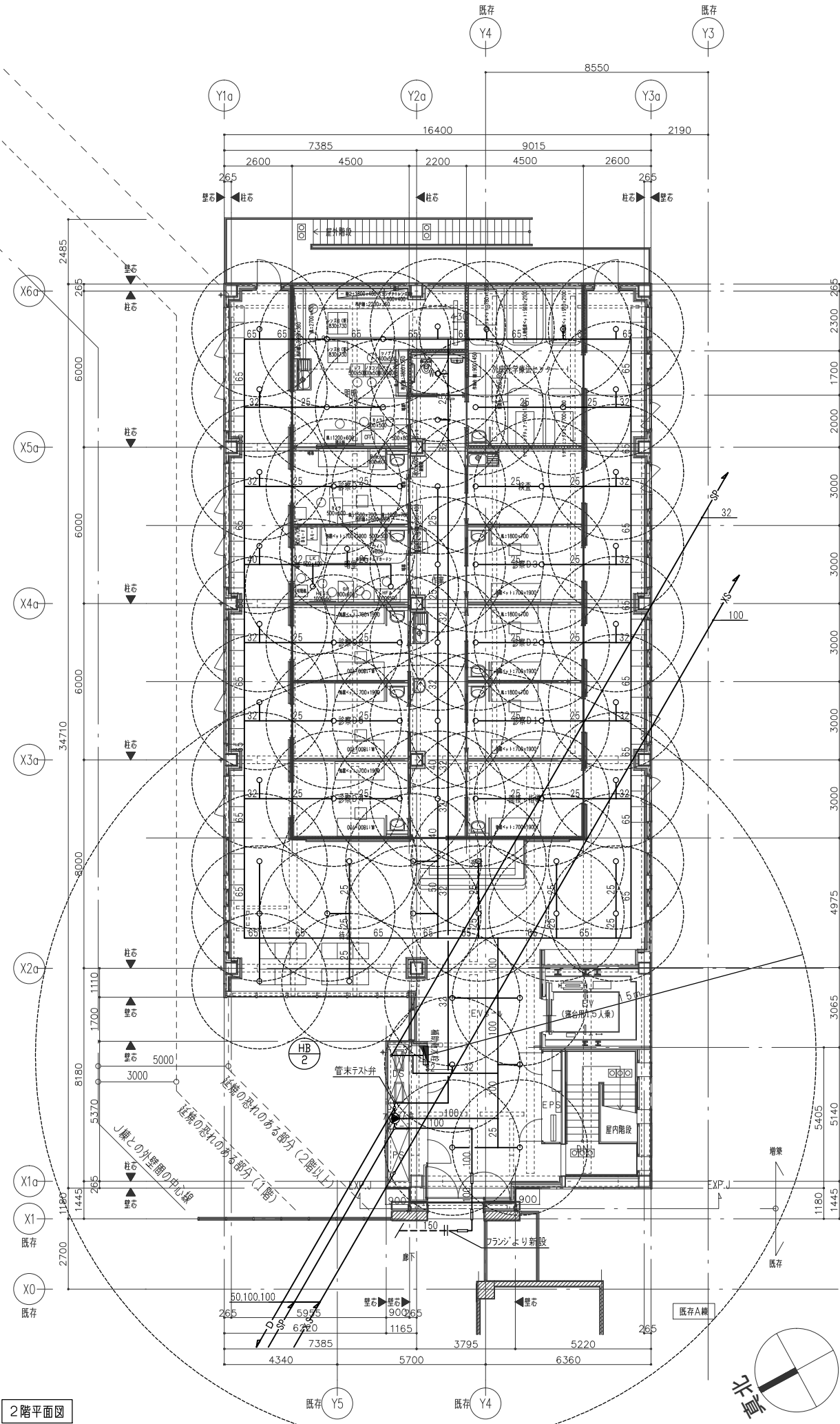
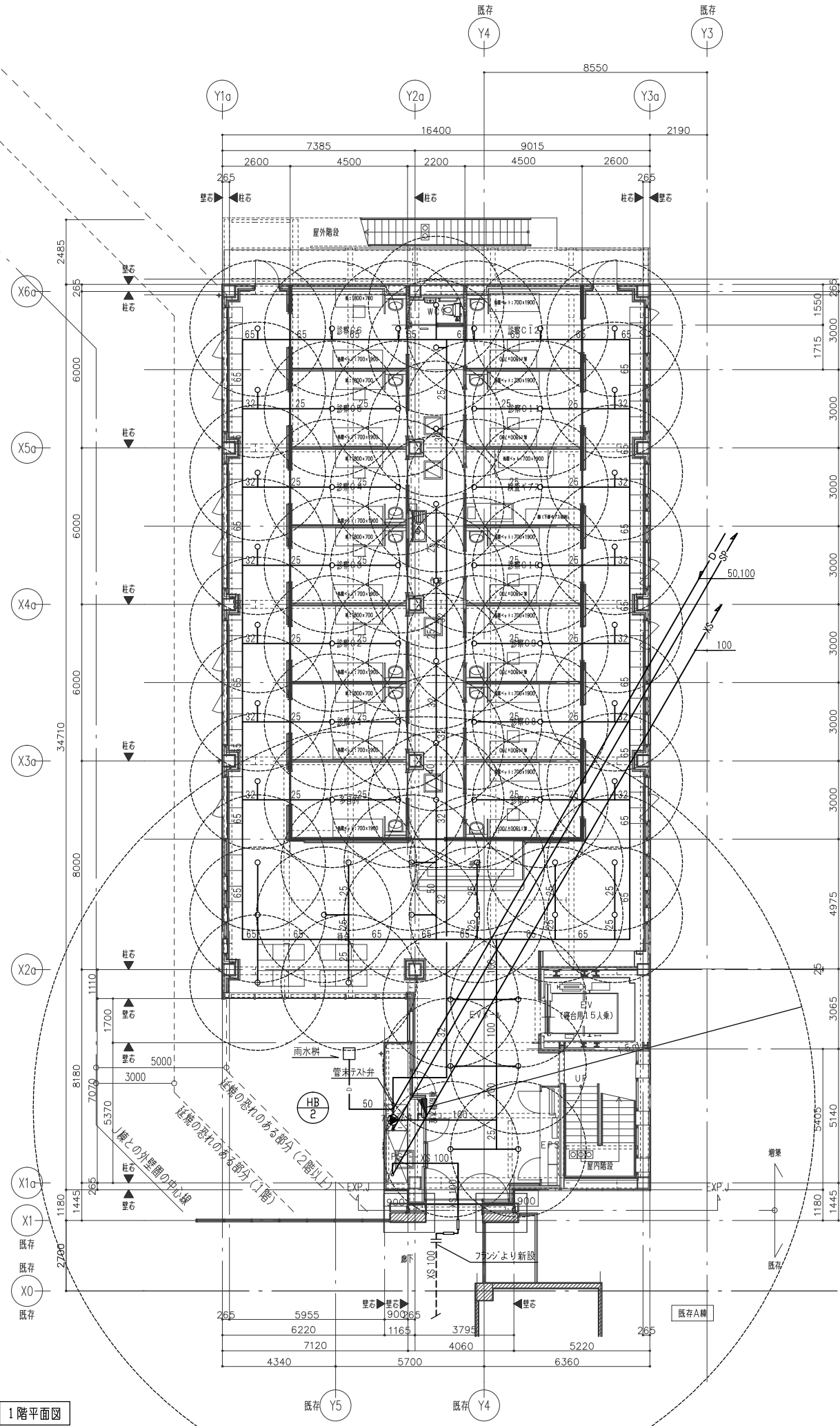


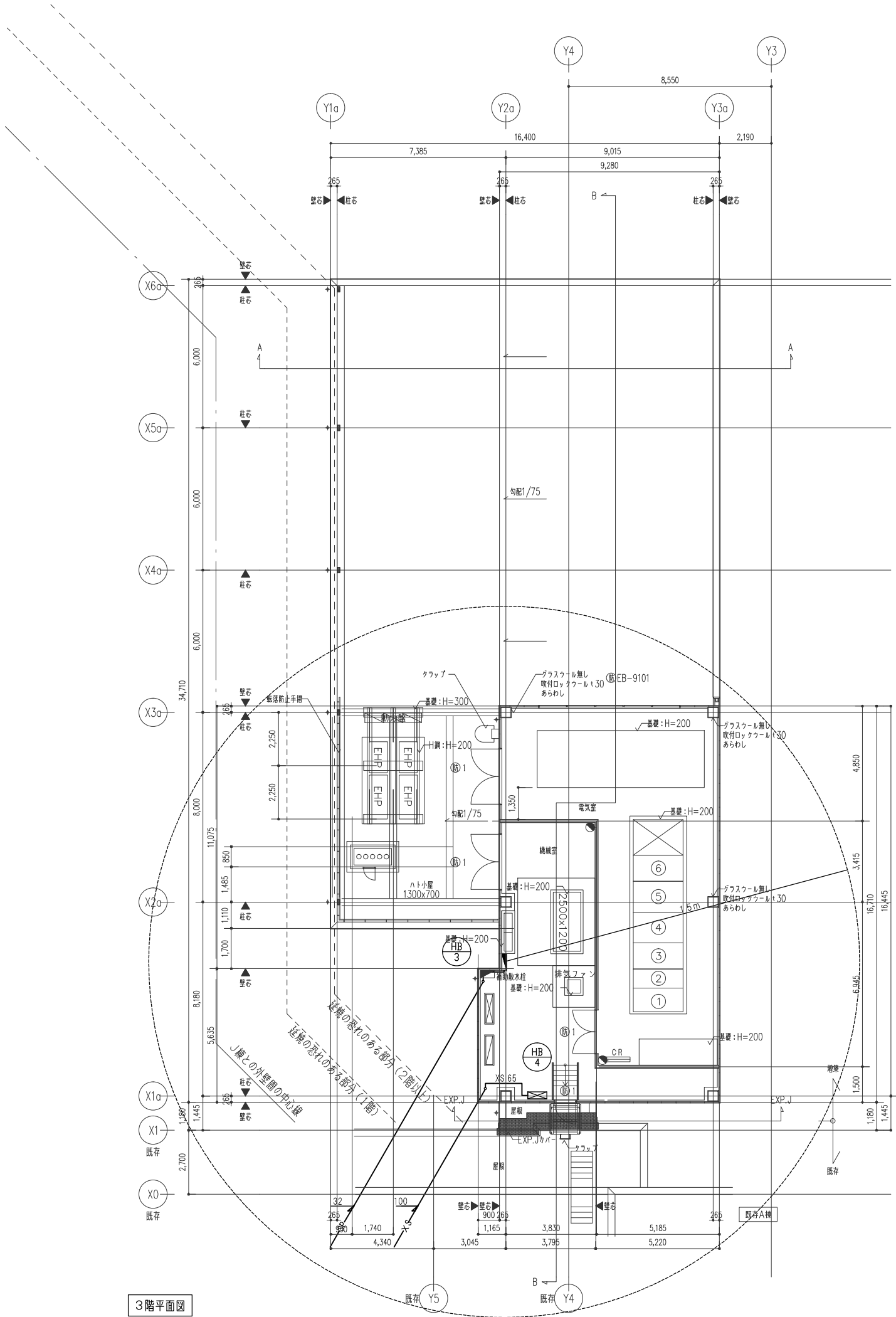
機器一覧表 (X12)

記号	機器名称	仕様・付属品等	数量	設置場所	備考
HB-1	屋外消火栓格納箱	<型式> 屋外消火栓格納箱 (SUS製) <寸法> 850 W×230 D×1,500 H <付属品> バルブ: 65A×90°×1個、ノズル: 65A×φ19×1本 ホース: 65A×20m×2本	1	屋外	コンクリート基礎建築工事

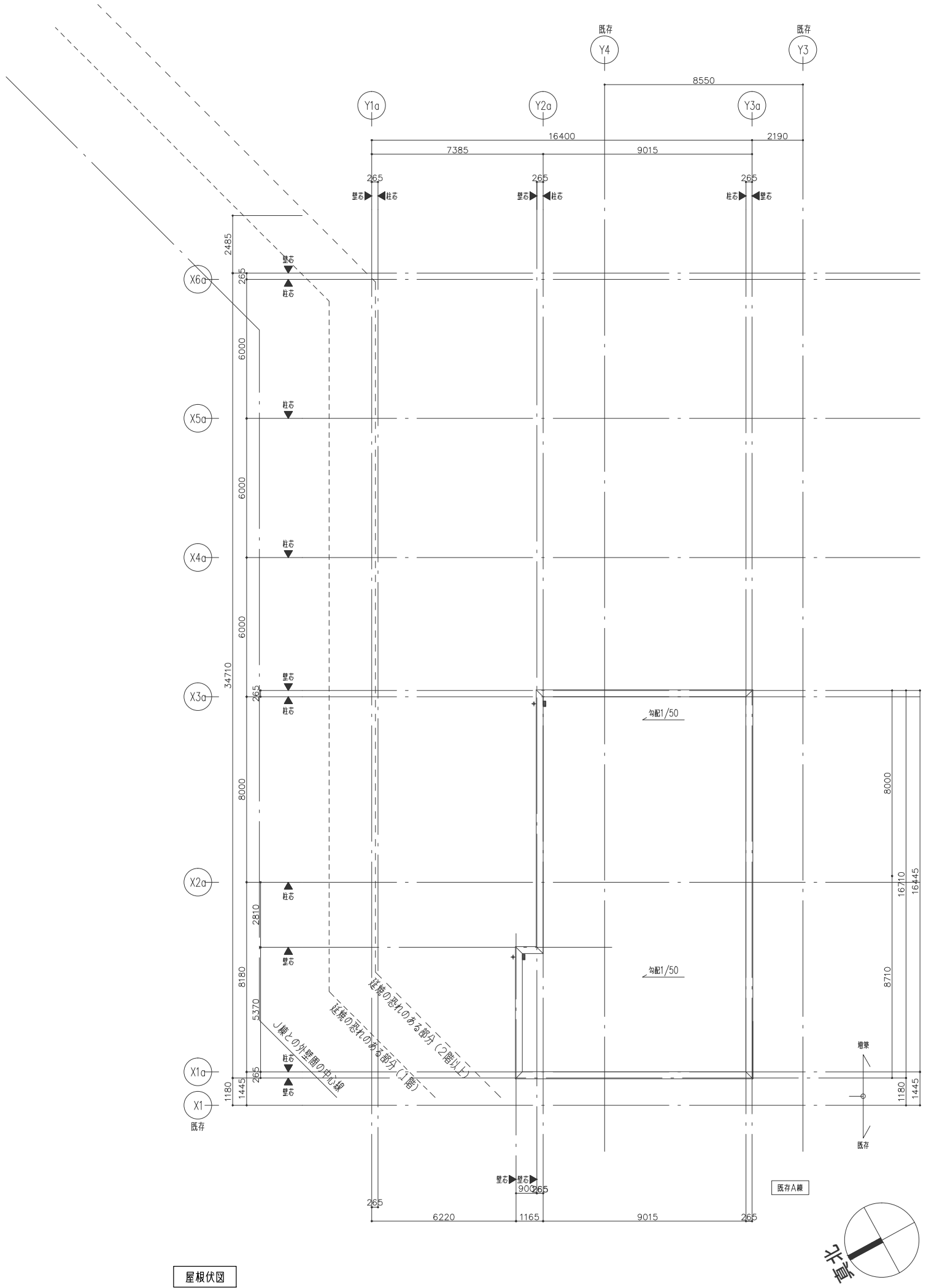
凡例	
記号	名称
	新設配管
	既存配管

(注) 屋外消火栓用屋外露出配管は保温を施す。
外装はカラー鋼板(指定色)とする。





3階平面図



屋根伏図

医 療 ガ ス 配 管 設 備 仕 様 書

1. 設 備 概 要

1-1 酸素配管設備

酸素の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1-2 吸引配管設備

吸引の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。
供給源は既設を利用する。

1-3 区域別遮断弁（シャットオフバルブ）

区域別遮断弁は、ボックス内に黄銅製ボールバルブを設け、バルブの開閉操作が迅速に出来る構造とする。
取付高は、バルブの中心でF.L.＋1500mmを標準とする。

1-4 配管端末器（アウトレット）

配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。
配管端末器の種類は、壁取付型がある。

2. 配 管 工 事

2-1 配管材料

ガスの種類	配 管	継 手 仕 様
酸 素	リン脱酸銅継目無管 （JIS H 3300 C1220T Lタイプ）	左記銅管による形成品 JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手
吸 引	ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを 被覆したものとする。	JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100, C3602, C3712, C3771

2-2 配管の支持間隔

呼称管径（mm）	<20	20～80	>100
支持間隔（m）	1.0 以内	1.0 以内	2.0 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。
型钢板止（A種耐震）は、<20は不要、25<40は6m以下、50<は8m以下とする。

2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。

配 管	酸 素	吸 引
色 別	緑	黒

2-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2-5 配管方式

配管はPS内を除き天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2-6 既設配管への接続

既設配管への接続工事については、事前に供給停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3. 検 査 ・ 試 験

3-1 配管系統検査

配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3-2 配管気密試験

気密試験の圧力及び時間は下表による。
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引は煙を吸い込ませる漏煙試験とする。

配 管 名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧 力 MPa	時 間 h	使用ガス	圧 力 MPa	時 間 h	使用ガス
酸 素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
吸 引	0.5	2		－0.05 [＊]	2	

＊試験を隔圧で行う場合は、試験圧力を0.1MPaとする。

3-3 配管内清浄度検査

施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引配管は除く。

壁埋込型区域別遮断弁（φ10～20）

壁埋込型配管端末器

凡 例

記 号	名 称	備 考
☒	区域別遮断弁	埋込型・露出型
□	酸素壁取付式配管端末器	埋込型
▽	吸引壁取付式配管端末器	埋込型
◇	系統バルブ	

記 号	名 称	備 考
—○—	酸素配管	JIS H3300 C1220T
—▽—	吸引配管	JIS H3300 C1220T
----	既設配管	
---↑---	既設配管に接続	

増築棟

系統図

IAE

株式会社 日立建設設計

禁複写 無断転載禁止
Copyright© 2013 IAE All rights reserved

REVISION

M-29_医療ガス設備 仕様書・系統図・器具図.dwg

APPD. 田中正

CHKD. 中川

DWN. 古岡

DATE 2013.11.5

SCALE (A3) -

JOB.NAME 静岡県立こども病院外来棟増築工事

TITLE 医療ガス設備 特記仕様書・系統図・凡例

DWG.NO. M-29

一級建築士 第185886号 飯谷 直紀

